

ちよつといい話 9



『ちよつといい話』を手にしてくださった皆さんへ

『ちよつといい話』は、皆さんが日々の生活の中で見たり聞いたり体験した、心が温かくなる出来事を取りまとめた小冊子です。

『ちよつといい話』の募集を始めて9年目となりました。今年度は、1,210人の方からご応募いただきました。これまでに、のべ7,440人の方にご応募いただいております。ページの都合上、すべてのお話を紹介することはできませんでしたが、お話を寄せていただきました皆様に深く感謝します。

『ちよつといい話』は、毎日の生活の中で、皆さんが感じた嬉しい気持ちや、感心したり、勇気をもらったりした出来事など、自分の心にしまっておくだけではもったいないような話のおすそわけとなっています。

この冊子を手にしていただいたあなたにも、毎日の生活の中で、人と人とのつながりを思い返すきっかけになれば幸いです。



も く じ



◆ 一般編	◆ 中学校編	◆ 小学校編
………	………	………
91	43	1

【表紙のイラスト】

土岐小学校4年

サハヤンマッケンジーさん

小学校編



❀ あいさつでニコニコ笑顔

.....
1

❀ 家族っていいな

.....
4

❀ 友だちっていいな

.....
12

❀ クラブ・習い事

.....
22

❀ 地域の人とのつながり

.....
30

❀ うれしい出来事

.....
34

おぼくがわんぱうな男

▽私が朝、登校する時、交通安全のおじさんが「おはよう！」と元気な声であいさつをしてくれます。私もその声につられて、つい大きな声で「おはようございます！」と言ってしまう。すると、じゅ業中は、いつもよりがんばれたと思います。私はきつとあのおじさんのおかげだと思います。私もあのおじさんのようにあいさつでみんなのやる気をつけさせたいです。

小4

▽この前、おばあちゃんが買い物に行った時、小学4年生くらいの男の子と3才くらいの女の子に会いました。その時、男の子が「こんにちは」とあいさつをしてくれました。女の子もお兄ちゃんのまねをして「こんにちは」と大きな声であいさつをしてくれました。おばあちゃんは「元気な声であいさつをしてくれてとてもうれしかった」と言っていました。ぼくは、知らない人にあいさつをするのは、はずかしいなと思っていたけれど、おばあちゃんのうれしそうな顔を見て今度はぼくもがんばってあいさつを試してみようと思いました。

小2

▽わたしのいえのちかくにこうこのテニスぶのりようがあります。わたしは、おにいちゃんたちに「おはよう」や「おかえり」をいってもあまりへんじがこないけど、たまにへんじをしてくれるときがともうれいす。あいさつはとてもきもちがいいなと思いました。

小1

▽私たちの学校は、山びこ委員を中心とし、あいさつ運動ということをやっています。いつも朝に、みんなで「おはようございます」とあいさつをしています。山びこ委員のみなさんは笑顔で「おはようございます」と返してくれます。とてもうれしいです。そして教室に入る時や、ろうかですれちがった人にもあいさつをしています。このことを毎日やっているあたりまえのようにできるようになりました。今では稲津小学校は笑顔いっぱいだと思います。それは今までの山びこ委員のみなさん、今の山びこ委員のみなさん、全校の協力のできるようになったと思います。協力することをわすれずにすごしていきたいです。

小5



小5

▽私のお母さんは、いつも近所の人がいいにもあいさつをしています。私は「何でいつも近所の人がいいにもあいさつをするの？」と聞きました。すると、おかあさんは「近所の人や他の人もあいさつをすると、よく返してくれるでしょ。だからお母さんも、あいさつをされた側もうれしくなるでしょ」と言われ私は思いました。「たしかにお母さんの言う通りだ。あいさつをすれば、あいさつをした人も、された人も、うれしく元気になる」と思いました。私は、なかなかはずかしくて大きな声を出してあいさつをできないので、これからは、いろんな人にあいさつをしたいです。

小5

▽私は、テニスを習っています。コーチが「練習中でもない人が通つたら、あいさつしてくださいね」と言ったので、クラブのみんなであいさつをしたら、その人も「おはよう。テニスがんばってね」と笑顔で返してくれました。その言葉を聞いたら、あいさつってすごいなと思いました。これからもあいさつを続けていきたいし、笑顔の力もすごいということがわかったので、続けていきたいです。

小5

▽私が陸上に行く時、おばあさんがいたので、勇気を出してあいさつをしたら「私も昔は陸上をやっていたんだよ」とやさしく話しかけてくれました。私はとてもきんちようしたけど、あいさつをして相手もよろこんでくれたのでよかったです。

小4

▽ぼくは、まい朝同じ時間に家を出ます。家の前にすむおじいちゃんや、大きな声で「おはよう」と言ってくれます。しばらく歩くと、ぼくをまわっていてくれて、大きな声で「おはよう」と言ってくれるおじさんがいます。まい朝いてくれるので、いないとぼくも気になってしまい、おじさんの家にむかって大きな声で「おはよう」と言うようになりました。ぼくを見まもってくれる人が二人いて、毎日うれしいです。

小2



小5

家族っていいな

▽ぼくのお父さんとお母さんは、しごとがお休みの日によく家のまわりの草とりをします。ぼくもやってみようかなと思ってはじめて家のまわりの草とりをしました。あつかったし、草がたくさんはえていたので、あせをいっぱいかいてカゴにいっぱい草をとりました。きれいになつてうれしかったです。そのあとは、お父さんとお母さんとおじいちゃんとおばあちゃんに「ありがとう。きれいになつたね」と言われてうれしかったです。また草とりするからね。

小2

▽ママがインフルエンザのとき、パパがかんぴょうしてくれました。わたしのめんどうもみてくれました。すてきなパパでした。

小1

▽わたしは、お父さんがかっこいいと思っています。物がこわれた時「こわれちゃった」というと、やさしく「いいよ。直してあげるね」と言つてさつと直してくれます。お兄ちゃんと私がテレビを見て知りたいことがあつたりするとタブレットやパソコンで調べて教えてくれます。そのおかげでうれしいことがふえました。直してくれた物も教えてくれたことも大切に残っています。

小4



小4

▽私がインフルエンザで学校を休んだ時、お父さんがおかゆを作ってくれました。でも、私は体がえらくて全部食べることができませんでした。それでもお父さんは、次の日もずっと治るまでおかゆを作ってくれました。そのおかげで元気に学校へ行くことができました。そのおかゆはとてもおいしかったです。

小4

▽わたしのお母さんはおこるとこわいです。でも「なんでおこるの？」と聞いたら「大切だからだよ」と言ったので、もうあまりおこらせたくないです。

小3

▽わたしのお母さんの足にくろくなっているところがあったので「けがしたの？」ときいたら「だいじょうぶだよ」といいました。わたしは、お母さんがしんぱいだったので「ものよりのちがだいじ」といったら、お母さんは「ありがとう」ととってもうれしそうでした。

小1

▽ぼくのお母さんは生きようのたくはいをしています。木曜日はたくさんはいたつするので、夕方おそくなります。お兄ちゃんは6年生ですが「お母さんが大へんだから」と言ってごはんを作ってくれます。しゅくだいもやってごはんも作ってすごいと思います。

小2



小4

▽ぼくは、お兄ちゃんといつもけんかをします。この前、いつものようにけんかをしてお兄ちゃんは2階に行ってしまいました。でもしばらくしたら、お兄ちゃんが1階におりてきて「さつきはごめん」と言ってきたので、いつもはあやまらないお兄ちゃんがあやまったので、うれしくなって自分もあやまりました。そしてらお兄ちゃんが「いっしょに遊ぼう」と言ってくれたので、すぐうれしくなって遊びました。仲直りした後、遊ぶと気持ちが悪キリしていつもの2倍楽しかったです。

小4

▽わたしには0さいのいもうとがいます。学校からかえつてくると、いつも「きゃー」とうれしそうにニコニコしてくれます。わたしのことをまわっていてくれたとおもうととてもうれしくなります。おねえちゃんになれてよかったです。

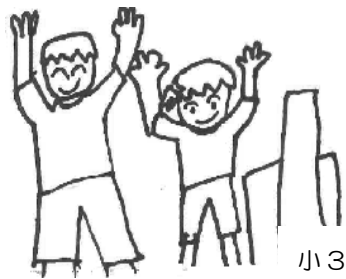
小1

▽わたしのいもうとは4さいです。まいにちいっしょにあそんでいます。「おねえちゃん大すき」と言ってくれるので、とてもかわいいです。いもうとは、うまれるまえに、それからわたしのことを見て「このおねえちゃんがいい」ときめてきたといっています。ほんとうかどうかかわからないけど、そんないもうとが大すきです。

小1

▽夏休みに入っすぐ、ぼくは、ねっ中しようになつて4回目のラジオ体
そうを休みました。いつも妹といっしょに行つていたけれど、その日は妹
一人で行きました。妹は1年生だから、一人で行けるか心配だったけど、
元気よく帰つてきました。ぼくは、妹の顔を見て安心しました。妹が「友
だちがみんな心配していたよ」と教えてくれました。みんなが心配してく
れていると聞いて、うれしかったです。ぼくは、早く元気になつて妹とい
っしょにラジオ体そうに行きたいと思ひました。

小3



小3

▽ソフトテニスの試合の時、きんちようするからとお姉ちゃんがお守りつ
きの手紙を書いてくれました。だから、きんちようしなかつたです。お返
しに、お姉ちゃんにもお守りを作つてあげたら、とても喜んでくれました。

小5

▽なつまつりの日、ぼくといもうとはかぜをひきました。でもおにいちゃ
んはかぜをひきませんでした。おにいちゃんは、ぼくたちのために、じぶ
んのおもちやをかわず、ぼくたちだけにおみやげをかつてきてくれました。
いつもは、おにいちゃんとけんかをしているけれど、ほんとうは大すきで
す。

小1



小1

▽ぼくのおじいちゃんは畑をやっています。休日にお手伝いをします。種まき、苗づくり、苗植え、うねきりなどいろいろやります。やると「ありがとう。たすかったよ」とおじいちゃんは言います。小雨の時や、ものすごい暑い時など、天候にかかわらず畑仕事をやっていますおじいちゃん、かつこよくかがやいています。それにくらべ、1時間もやっていないぼくに、笑顔でお礼を言ってくれます。一生けん命毎日畑仕事をやっているおじいちゃんに負けなくらいがんばりたいです。また、ぼくたちのために米や野菜を作ってくれるおじいちゃんに感謝して食べたいです。そして、今まで以上におじいちゃんを手伝いたいです。

小6

▽ぼくのおばあちゃんは、月曜日や早帰りに家にいてくれます。おばあちゃんは、昔、事故にあつて目が悪くなつてしまいました。でも、なぜ家に来てくれるのか聞いてみました。そしたら、おばあちゃんは「あんたらの命は大切だろ。死んだらこまるからね」と言いました。この時、ぼくは、こんなぼくたちのことを思っているんだなと思いうれしい気持ちになりました。

小6

▽ぼくには92さいの大きいおばあちゃんがいます。ときどきおばあちゃんはいえに行くと、むかし話をたくさんしてくれます。かえるときには、ぎゅつとだきしめてくれるおばあちゃんが大好きで、とてもあたたかい気持ちになります。おばあちゃん長生きしてね。

小2



小2

▽わたしは、うまれてからかぞくとアパートでくらしていましたが、9月におじいちゃんとおばあちゃんのいえのとなりひっこしました。おじいちゃんのは、大きいはたけとくりの木があります。ひっこしのよくじつ、おばあちゃんづくりひろいをしました。「いがを足でふんできりのみをとるんだよ」と、おばあちゃんがおしえてくれました。これからいっしょにはたけのしゅうかくができるし、すぐに話ができるのでうれしいです。

小1

▽ぼくのおじいちゃんが亡くなってしまい、お母さんが「おじいちゃんを旅行に連れて行ってあげられなかった」と悲しんでいました。すると、しんせきのおじさんが「しんせきみんな旅行に行こう」と言ってくれて、夏休みに15人で旅行に行きました。「天国にいるおじいちゃんもきっと喜んでるね」とお母さんもぼくもしんせきもみんな喜んでいました。おじいさんがとう。

小5

▽わたしの大おばあちゃんは、ことしの1月になくなりました。わたしは、大ばあちゃんが大きだったので、とてもかなしくて、おそうしきの時、いっぱいなきました。今日、大ばあちゃんのはつぼんでした。おぼうさんのお話で、むかえ火をたいて大ばあちゃんがいえにかえってこれるようにするそうです。おぼんの三日間は、大ばあちゃんがいえにいるからうれしいです。あした、おくり火をするので、大ばあちゃんは天国にかえってしまいますが、また、らい年、会えるのをたのしみにしています。

小2

▽夏休み中、中国に帰って一番心にのこったことは、ぼくのひいおじいさんに会えたことです。ぼくは、はじめてひいおじいさんに会いました。お母さんも長い間会っていなかったのでなきました。その時、なんでないたのかわかりませんでした。お父さんに聞いたら「うれしくてないた」とせつめいしてくれました。ぼくも、ひいおじいさんに会ってとてもうれしかったです。ひいおじいさんにプレゼントをわたしたら、ぼくの手をにぎって「ありがとう」と言ってくれました。その時、ぼくは、ひいおじいさんは、やさしくて親切な人と感じました。ひいおじいさんと遊んでいるうちにおわかれの時間になってしまいました。わかれると少しさびしかったけど、また会えるので楽しみにしています。

小3

▽ぼくが、生まれた時、高校生だったいとこのお兄ちゃん。子どもが大好きで、学校の先生をしています。いつもおばあちゃんの家に行くと、いっしょに遊んでくれるので、とても大好きです。そんなお兄ちゃんが来年けっこんするので、3月に家を出ると聞きました。家を出てしまったら、遊びに行ってもお兄ちゃんはいません。今までのように遊べなくなるのはとてもかなしいけれど、たくさん思い出があるので、お兄ちゃんのけっこんを心からお祝いしたいと思います。お兄ちゃん、けっこんおめでとございます。

小3

▽ぼくにはおじいちゃんは一人しかいません。一人のおじいちゃんは、ぼくが赤ちゃんの時に死んでしまったからです。そのかわりにぼくには、おじいちゃんのように、ぼくの成長を楽しみにしてよるこんでくれる人がたくさんいます。その中の一人は、お父さんとお母さんの大学時代の先生です。その先生とは、1年に1回しか会いませんが、ぼくの成長を心の底からよるこんでくれます。ぼくが大きなテニスも、その先生はいつしよけんめいに教えてくれるし、テニスの試合で勝てるように先生が持つていたお守りもゆずつてくれました。後から聞いた話では、ぼくの成長するすがたをまごのようにうれしそうに話してくれていたそうです。自分のそんざいや成長をよるこんでくれる人がいるので、うれしく思います。その人たちにもつとよるこんでもらうためにも、毎日を大切にいつしよけんめいすごしていきたいと思います。

小3

▽私の家には、コザクラインコのココアちゃんとチョコちゃんがいます。私がココアちゃんとチョコちゃんを飼つて一番良かったと思うことは、家族の会話が aumentata ことです。晩ごはんを食べている時には、いつもココアちゃんとチョコちゃんの話の話を聞くだけで、心が温かくなります。これからも2羽を大切に、家族みんなの心が温かくなると思います。

小6



小6

お友だちっていいな

▽わたしは、20分休みに一人でいたときに、どうきゆう生のとってもなかのよい友だちが「いっしょにあそぼ」とさそってくれたのでうれしかったです。そのおかげで、ほかの友だちとうまく話せたり、いっしょにあそぶ友だちがふえたのでたのしいです。なので、つぎはわたしが友だちに「いっしょにあそぼ」とさそってあげたいです。

小2

▽この前、学校のげたばこの前で、きょうしつに行くのがしんぱいでこまっていたら、たんにはの先生とおもだちがきてくれて「だいじょうぶだよ。いっしょに行こ」とやさしく言ってくれたのでうれしかったです。おともだちがえがおでさそってくれたので、わたしはきょうしつに行くことができました。

小2

▽ぼくは、一学き学校へ行きたくなくてないた日があった。学校でなくのははずかしかったけど、なかよしの女の子が来て「だいじょうぶだよ」「たのしいよ」とずっといっしょにいてくれた。お母さんが来てくれるまで、はずかしかったけど、とてもうれしかったです。お母さんも「なんてすてきな子」と言っていました。それからぼくはなかないで学校に行っています。

小2

▽私には、友だちがいる。引きこもり気味でオタクっぽい私に、かけがえのない友だちが。いることが当たり前すぎて、考えたこともなかった。いつのまにかいた友。しゅ味の合う友。ケンカするほど仲が良い友。音楽について語り合える友。いつも私に話しかけてくれる友。私にはいろんな友だちがいる。そのだれもがかけがえのない友だち。私の心の支え。そして私も…だれかのかけがえのない友だちに、だれかの心の支えになれたらな。そんなことを考えていると「帰ろー」という声が聞こえてくる。そんなことを考える。ある日の放課後。

小6

▽きんよう日のかえりみち、その日はいつもよりもつがたくさんありました。あつさもあってわたしは、みんなのペースについていくのがたいへんでした。休み休みあるいていたら、おなじクラスのおともだちが「これもってあげるよ」といって、わたしのとしよバックをもつてくれました。ともだちがたすけてくれたので、かえりみちをあるきまることができました。わたしもこまっているおともだちがいたら、じぶんができることでしたすけてあげたいです。

小1

▽夏休みにプールに行きました。かえろうとしたとき「プールぼうしをわすれているよ」とやさしく6年生のおねえさんが言ってくれました。わたしも大きくなったら、いいおねえさんになりたいです。うれしかったです。

小2



小2

▽わたしは、手のほねがおれて不自由な生活でした。きゅう食で、右手が使えなくて、お茶わんにのこっているごはんの米つぶが食べにくい時、友だちがお茶わんを持ってくれました。昼休みの時間には、わたしと「いっしょに遊びたい」と言つて、右が使えなくてもできる遊びを考えてくれました。友だちが手つだつてくれたおかげで、毎日楽しく生活できました。こんど、だれかがこまっていた時は、わたしがたすけてあげたいです。

小3



小3

▽わたしがねつをだして学校を休んだとき、クラスのみんながお手がみをかいてとどけてくれました。「はやくよくなってね」「またいっしょにあそぼうね」「みんなしんぱいしているよ」などとかかれています、みんなのおおがうかび、とてもうれしくて、はやくなおつて学校へいき、みんなにあいたいなおもいました。手がみにげんきをもらいました。こんど、ともだちが休んだときは、わたしもげんきになるお手がみをかいてあげたいとおもいます。

小1

▽ぼくがともだちのいえにあそびに行ったときのことです。ぼくはアレルギーがあるので、あまりみんなといっしょのごはんが食べられません。でも、この日、ともだちのお母さんが、ぼくが食べられるカレーをみんなに作ってくれました。ぼくはみんなといっしょのカレーを食べられることがうれしくてたくさんおかわりしました。

小2

▽わたしが学どうからかえっているとき、すいとうをもっていないことにきがつきました。そのとき、学どうでいっしよのおともだちが、すいとうをはしつてもつてきてくれました。もう、学どうからかなりはなれたばしよにいたのに、あつい中、いっしよけんめいにはしつてきてくれて、とてもうれしかったです。わたしは「ありがとう」とつたえました。わたしもおともだちみたいにやさしくしたいと思います。

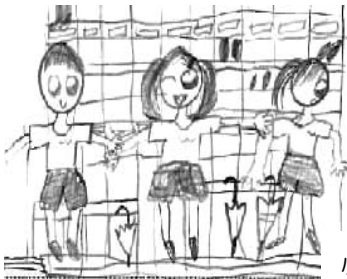
小2

▽夏休み、ぼくは学童にかよいました。いろんな学年の子と遊んだり勉強したりします。ぼくが勉強でこまっていたとき、6年生のお兄さんがぼくの勉強を教えてくださいました。学童では、年上の子がいて教室とはちがうふんいきで勉強できてよかったです。おにいさん「ありがとう」

小3

▽学校の休み時間に一人であそぼうと思っていたとき、友だちが「いっしよにおにごっこする？」とさそつてくれました。一人であそぼうと思っていたけれど、友だちがやさしくさそつてくれたから「うん」とこたえました。すると友だちが「よし、じゃあやろう」とへんじをかえしてくれたのでうれしかったです。みんなであそぶおにごっこはやつぱりたのしかったです。わたしもだれかが一人であそんでいたなら「いっしよにあそぼう」とさそつてあげたいです。

小2



小2

▽分団登下校で1年生が重い荷物を持って汗をすごいかいて歩いていたので「もってあげるよ」と言っただけであげました。私が1年生のころ毎日のようにランドセルを持ってくれたお姉さんがいました。私は、やっとお姉さんの気持ちがわかりました。「重いけど1年生のため。しつかりしない」と思いました。学校につくと1年生がすごいえ顔で「最後まで歩けた」と言ってくれました。私はお礼を言われなくても、そのえ顔がとてうれしかったです。

小6

▽私は、まだ係です。小さいまどのかぎはとどくけれど、大きいまどのかぎはとどきません。すると、近くの席の子が「開けてあげる」と言っただけでかぎを開けてくれました。「ありがとう」と言ったら「どういたしまして」と言ってくれたので心があたたかくなりました。「ありがとう」と言うのが楽しくなりました。

小4

▽このまえ、学校のかえりみちで、1年生の子がこけたので、わたしがつもっていたバンソウコウをはってあげました。なんでバンソウコウをもっていたかというとき、けがしたとき、すぐカバンの中から出してあてをしてあげられるし、じぶんがこけたときもはれるからです。ともだちもバンソウコウをもっていたので見てまねしました。2年生になったから、下の子が入ってきしんせつにしてあげられてよかったです。

小2



小2

▽ぼくは、そろばん教室へ行くと、友だちが待っていてくれます。ぼくは時々行くのがおそくなつてしまうけれど、待っていてくれるのでうれしいです。ぼくが3級のころは席も遠かったし、ちがう学校でちがう学年だったので、あまり話したことがありませんでした。でも2級になつて席がとなりになりました。すると気があつて話しやすかったです。そろばんで失敗した時にもなぐさめてくれます。ぼくたちは点数がほとんど同じなのでライバルです。そろばんで、ちがう学校の子と友だちになれてうれしいです。これからもうつと友だちでいます。

小5



小5

▽学校からかえろうとしたとき、ともだちがかさをわすれてこまっていたので「わたしのかさにいっしょにはいる?」といつてあげました。ともだちが「ありがとう。いいの?」といいました。ともだちがぬれないようにかさをななめにさしました。いえについたら、ともだちがもういちど「ありがとう」といつてくれました。わたしのきもちはずれしかったです。

小1



小1

▽リレーのせんしゅぎめするとき、大すきなおとこの子がおうえんしてくれたから、ぜんりよくではれました。

小1

▽私は、3年生になった時、人とよくしゃべれるようになって、少しでも友だちをつくろうと自信をもつてじぶんの言葉で友だちができたのは同じクラスの○○さんです。4年生になってもずっと友だちで楽しいです。こんなになかよくなるのは、はじめてで、ものすごくうれしきもちです。ちがうクラスになっても友だちです。もつともつとなかよくしたいです。

小4

▽ぼくは、ロボカップジュニアというきょうぎのサッカーをしています。そこで新しいロボットを作るとき、部品選びでこまっていると、先輩のお兄さんたちが「何にこまっているの？」と声をかけてくれました。そしてこまっていることを話すと、自分たちのロボットを見せてくれて教えてくれました。おかげで部品のことがわかりました。ぼくもそういうやさしいお兄さんになりたいです。

小5

▽わたしが、休み時間に一人でいた時に、3人の5年生が「どうしたの？友だちと遊ばないの？」と聞いてくれて、その後、いっしょに遊んでくれました。一人でさみしい気持ちだったので、とつてもうれしかったです。5年生の子はやさしいなと思いました。他の学年の子と遊ぶのもすごくいいなと思いました。

小4



小4

▽ぼくがけがをした時、お友だちが「大丈夫？」と聞いてくれました。ぼくは「大丈夫だよ」と言ったけれど「血が出ているから保健室へ行こう」と言って保健室までつれて行ってくれました。仲のいいお友だちがいるって幸せだなと改めて思いました。

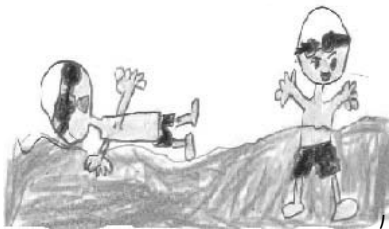
小5

▽私は、いじめられていて、ずっとその子のことをさけていました。夏休みに入ってプールへ行った時、いじめていた子とペアになってしまいました。わたしはずっとだまっていたましたが、その子から「前はごめんね。これからは仲良くしよう」と言ってくれました。その後、一緒にあそんでくれたりしてうれしかったです。

小6

▽去年までは、せ泳ぎが泳げなかったけど、友だちのおかげで少し泳げるようになりました。今年のプールの時、ぼくが「せ泳ぎの泳ぎ方教えて」と言ったら「いいよ」と言って休み時間の時、教えてくれました。練習をしたら少し泳げるようになりました。そしたら「すごい」や「やったやった」と友だちが言ってくれました。ほんわかした気持ちになりました。

小4



小4

▽わたしは、2年生になってあたらしい1年生の子がきて、やさしくしたいとおもったけれど、はずかしいからできませんでした。でも、じぶんでどうしたら1年生となかよくなれるかかんがえました。おうちでも学校でもいろんなところでかんがえてみました。そしてついにおもいつきました。そして休みじかに1年生の子に「いっしょにあそぼう」とこえをかけてみました。そうしたら「いいよ」といつてくれたのでうれしかったです。またいっしょにあそびたいし、おもだちもいつぱいできたらいいです。

小2

▽私はいつも係の仕事でつかれています。9月は運動会の応援団ということもあり毎日が大変でした。係の仕事はやっているものの応援団の集まりにおかれていきます。そんなある日、グループの女の子が「集まり大変だね。わたしが代わりにやっておくね」と笑顔で私の心につまっていることを理かいてくれました。それからたまにそんなことを言ってくれるかのじよにはとても感しやしています。自分勝手な私にやさしくしてくれるかのじよはまるで天使のようでした。こんなかのじよを見習って人を笑顔にしたいです。そしてこれからもかのじよに感しやし、私ができることをおん返ししたいなと思います。

小4



小4

▽わたしは、学校で仲がいい子とケンカをしてしまいました。よくケンカをする二人でいた場所からはなれて一人になるという行動をしてしまいました。でも、一人でいると心がモヤモヤして相手はどうしているのが気になってチラチラ見てしまいます。その気持ちがあつて「ごめんね」と言つてこようと思いますが、なかなか言う気になれませんでした。それでもわたしは、がんばつてあやまつてみました。そうしたら、相手も「ごめんね」と言つてわらつてくれたので、心がほわつと温かくなりました。

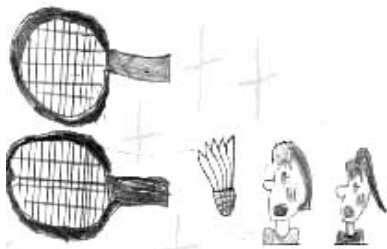
小4



小4

▽じどうかんでじまんはつびようがありました。わたしは、ともだちとバトミントンをれんぞく6回やることにきめました。それかられんしゅうをしてほんばんになりました。その日、いっしょにバトミントンをやるおともだちがねつをだしてしまったけれど、がんばつていっしょにやつてくれたので、6回をこえて10回できました。見てくれたみんなもおうえんしてくれてうれしかったです。そして、ねつを出してもいっしょにバトミントンをやつてくれたおともだちにもかんしゃしました。

小2



小2

★クラブ・習い事

▽わたしはバスケットを習いはじめました。そこには友だちが二人いました。バスケットをはじめたばかりであまりうまくできなくてくやしく思いました。すると、二人が私にくわしくわかりやすくてきなかつたところを説明してくれたので、できるようになりました。私はうれしかったし、バスケットクラブに入ってよかったなと心があたたまりました。

小4

▽私は、バスケットボールを習っています。この間、試合がありました。すごく強い愛知のチームと戦いました。とっても強いチームだったし、自分たちが弱いということもあって、3試合戦った中で全敗でした。しかもすごい大差でした。私は、くやしくてくやしくて泣いてしまいました。1時間たつても2時間たつても泣き続けていました。そんな時、はげましてくれたのはお母さんでした。お母さんは泣いている私をなでながら「またバスケットで泣いているの？体力なんて走ればつくし、ドリブルをつけば上手になるよ。練習がんばろう！」と言いました。私は、この言葉聞いて、とても温かいほかほかした気持ちになりました。そんなはげましてくれるお母さんに出会えてよかったです。ありがとうございます。大好きだよ。そしてこれからもよろしくね。練習がんばります。

小6

▽ぼくは、サッカーをならっています。この前、れんしゅうじあいの時に、コーチから※スローインのボールをわたされました。するときゆう生のチームメイトが、ぼくからボールをうばってスローインしようとした。ぼくは、すぐあきらめてコートにもどろうとしたら、同じゆう生のチームメイトが「このボールは〇〇くんのだよ」とうばいかえそうとしてくれました。ぼくのために言いにくいことをゆう気を出して言ってくれたので、うれしかったです。ぼくは、これからはなまとなかよくサッカーをがんばります。

※ボールを手で投げ入れてゲームを再開すること

▽友だちとサッカーのしあいをしているとき、友だちが「サッカーじゃあらずだね」といつてくれてうれしくなりました。

小2



小2

▽ぼくは、サッカーをしています。あるサッカーの試合で対戦チームの子が押されて転んでしまいました。その時に、たおしてしまった子だけでなく、対戦チームの子たちやぼくのチームの子たちがかけよって「大丈夫？」

と声をかけていました。ある日、学校で3年生の子が転んだ時も、同じサッカーチームの子がかけてよって「大丈夫？」と声をかけていたので、生活面でもやさしさが出ているなど気付きました。ぼくもサッカーだけでなく、生活でもやさしさを身につけたいと思いました。

小5

▽サッカーの試合の後、決勝戦で勝ったチームのお母さんに「ナイスキーパー。上手かったよ」と言われました。その試合は、優勝して県大会まで行けた試合です。優勝したのもうれしかったけれど、試合相手のお母さんにほめられた時は、何倍もうれしくて、今までより心が超・超温かくなりました。

小5

▽ぼくは、空手を習っています。でも練習は週に一回しかないので、お父さんがいつしよに組み手をしてくれます。なので、日に日に強くなっている気がします。そして、毎週「また強くなった」と先生に言われます。なので、お父さんに感しやをしなければいけないし、しどろしてくれる先生にも感しやしなければいけないと思いました。これからもせいっぱいやっていききたいと思うし、小さい子もやっているから、その子たちをがんばってしどろしていききたいです。

小5



小5

▽ぼくは2年生から野きゆうをやっています。早く上手になりたいので、家でもれん習をするけど、その時には、お父さんやお母さんが相手をしてくれます。キャッチボールやバッティングで、へんな所にボールが行ってもおこらず、教えてくれるのでとてもうれしいです。だから、たくさんれん習して早く上手になりたいです。

小3

▽この夏も暑くて、ぼくの体はものすごくびっくりしていました。そんな中、ぼくは土曜日、日曜日と春日井で野球をしています。お茶をたくさん飲んで飲んでもすぐにかわきます。だけど、自分は、野球がうまくなりたいという気持ちが勝ってしまい、たまにむりをしてしまうことがあります。すると、頭がいたくなってきたてしまい、はき気もしてきました。そのことに気付いた同じチームの子やコーチが心配してくれて、首すじやわきを氷で冷やしてくれました。同じチームの子は「大丈夫？」と何回も何回もよびかけてくれました。さらに、コーチのクラーのきいた車でねむらせてもらえました。そのおかげか良くなって、翌日には治っていました。ぼくはそういうに人を大事に思いやる気持ちは素敵だし、うれしいなと思いました。

小5

▽私は、小学4年生ぐらいからソフトボールを始めました。自分と同級生の子がいなくて一人でやっていました。でも、6年生のお別れ会とかで、その時5年生だった3人のお姉さんたちが「いっしょに食べよ」と言ってくれて、まだなれてなかった時なのですごくうれしかったです。でも、卒業式が終わるのは早くてかなしかったです。今はキャプテンとなり、みんなをまとめたり、みんなよりもしゅびや打つのも一番上手になれるよう練習しています。あの3人のお姉さんたちのおかげでソフトボールも楽しくなったので、一人でいる子がいたらたすけてあげたいし、ソフトボールに興味を持ってもらい、できるだけ多くの人にやってもらいたいです。3人のお姉さんたちと中学校でいっしょに練習できることを願っています。

小6

▽私は、瑞浪小学校にソフトボールを習いに行っています。瑞浪小学校の子たちは、何をやればいいのかわからない時、やさしく教えてくれます。瑞浪小学校では、最後に歌を歌います。それは、きっとチームワークを高めるためだと思います。そして私は、瑞浪小学校の子のやさしさはいいなと思いました。

小5

▽私はソフトボールをしています。試合の日は、朝早いので、お母さんは、4時半くらいに起きてお昼に食べるおかずやおにぎりなどを作ってくれます。私には2才の妹がいるので、お母さんは妹のめんどうもみて、私のおべんとうを用意してくれます。私を起こしてくれたり、朝早くからせんたく物を干してくれたりします。いつも練習についてきてくれたり、試合も見にきてくれます。試合でホームランを打った時には、かならずほめてくれます。内野ゴロなどでアウトになってしまった時は、家で打ち方を教えてくれたりします。たくさん手伝ってくれるお母さんにソフトボールでいいところを見せてあげたいです。

小6



小6

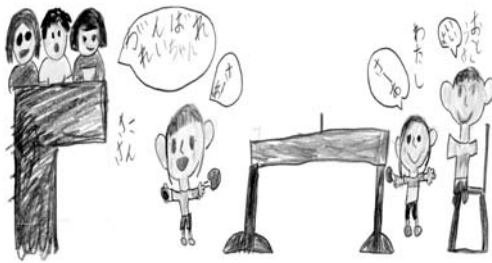
▽私は、陸上を習っています。ある日、記録会がありました。私は、いろいろな種目にチャレンジしました。100メートルも走りました。100メートルはきよりが長くて大へんでした。でも、走っている時に、先生がおうえんしている声が聞こえました。私といつしよに陸上を習っている子もおうえんしてくれて最後まで走れました。私もいろいろな子をおうえんできるといいなと思いました。

小4

▽ぼくは陸上をやっている、その練習を一人でしていました。すると、友だちがやってきて「いつしよにやろうよ」と言ってくれました。ぼくは、練習するときはいつも一人なのでびっくりしました。それから練習する時は、いつも友だちが来ていつしよにやってくれました。ぼくは、友だちは良いそんざいだなと思い、もっと友だちを作りたいなと思いました。小5

▽わたしは、まい日、たつきゅうのれんしゅうをがんばっています。なつやすみにぜんこくたいがいがありました。わたしはとてもきんちようしました。おなじとしの子たちとやりました。みんなつよかったです。お父さんとみんながおうえんしてくれたから、2かいかてました。

小1



小1

▽ぼくは、テニスを習っています。ある日、練習試合でミスをした時、ペアの子が「大丈夫」と言ってくれました。なので、ぼくは、その日いこう、失敗しても大丈夫だからちようせんするところが大事なんだなあと思いました。

小5

▽私は、テニスをしています。ペアのKさんと組んでいます。4年生から同じペアです。あるテニスの試合の時、自分がサーブを打つことになり※フオルトしてはダメだと思いました。一球目、パシーツと強く打ちました。ですが、フオルトしてしまい、あと一球となりました。その時、Kさんが「ドンマイ、次の一球しかからがんばろう」と言ってくれたので、その試合は勝つことができました。

小6

※サーブで失敗すること

▽わたしは、チアダンスをならっています。人のまえでおどるときは、すぐくはずかしいけれど、リズムにあわせてがんばっておどっています。なつまつりのはつびようかいのあと、「1年生のみんな、みちがえるほどじょうずになったね」といわれました。わたしはすごくうれしかったです。これからもチアダンスをがんばろうとおもいます。

小1



小1

▽七夕祭りの時、私はチアでダンスをおどりました。いとこや下の学年のチアをやっている子や、知り合い、とくに家族がいつしようけんめいおうえんをしてくれました。もし、私におうえんしていなくてもおうえんしているように聞こえて楽しくおどれました。おうえんしてくれた人を感じやの気持ちをごめ「ありがとうございます！」とさいごのお礼をせいいっぱい言い切りました。

小5



小5

▽私は、ピアノを習っています。ある日、私がピアノをひいていると、次のじゅん番の子が「前よりピアノが上手になったね。すごい！」とほめてくれました。私はとてもうれしかったし、もっとピアノをがんばろうとやる気が出ました。私も友だちが何かをがんばっている時に、その子がうれしいと思える言葉をかけてあげたいです。

小5

▽私は、合唱団に入っています。ある日、練習が終わってから先生により出されました。私は、おこられるのかなあと思いがらついていきました。すると、おこられるのではなく、逆にほめてくださいました。しかも、かさはらでやる音楽げきをすすめてくださいました。なので、今は、そこに行っていて、オーデイションも合かくしました。うれしいです。

小5

☆地域のひとのつながり

▽学校から帰って来る時に、いつも会うおばあさんがいます。おばあさんはいつもにこにこしていて、私たちに「おかえりー」「気をつけてねー」と言ってくれます。それを聞いて、私は「ありがとうございます」と言って家に帰ります。その時に「いつも見てくれてるんだなー」と思っている、心がほっとします。

小5

▽友だちの家に行った帰りにおばさんに会いました。おばさんは私たちのことを知っている近所の人です。あいさつをしたら「大きくなっただね」と声をかけてくれました。たくさんしゃべり終わったら「話してくれてありがとう。あんたみたいに元気になって畑仕事がんばるわ」と言ってくれました。その言葉で私まで元気になりました。言葉は元気になれるまほうです。

小5

▽1年生ぐらいの時、友だちの家に遊びに行き、遊ぶのにむちゅうになりすぎて6時半になってしまいました。外は暗くてほとんど何も見えない。そしてまいごになってしまいました。落ちこんですわっていたら、近くのおばさんが「だいじょうぶ？こんな夜中に。送ってあげようか？」と言ってくれたので「うん」と答えました。ぼくは、その人に、お礼に行きたいです。

小5

▽ぼくはむしをつかまえるのが好きです。むかいのはたけのおばさんに、むしのはなしをしたら「はたけでむしをつかまえていいよ」と言ってくれました。むしのせわをしていたら、きんじよのおじさんが「ぼくも子どものころむしが好きだったよ」と言つて山でつかまえたくわがたやせみのようちゆうをくれました。むしあみでむしとりをしていたら、それを見ていたべつのおじさんが「かみきりむしを見つけたよ。あげる」といつてつかまえてくれました。とてもうれしかったです。ぼくのつかまえたかったむしをつかまえると、はたけのおばさんに見せて、むしのはなしをします。とてもたのしいです。

小1

▽学校の帰り道、近所のおばさんが「メダカ見ていく？」と声をかけてくれました。その時、妹は泣いていて「もう少しだからがんばつて」となぐさめている時でした。そのおばさんは、メダカだけでなく、コイも見せてくれました。その後「がんばつてね」と言つてあめをくれました。そうしたら、妹は家までがんばつて歩きました。よくお世話になつているおばさんだけど、初めて会つた人のように思えました。私もあのおばさんのような親切な人になりたいです。

小6

▽毎年あるのですが、地域の方が、海へつれて行つてくれる時があります。大勢の人をつれていく中、楽しくなれるようにいろんなことを考えてくださいます。私は、その地域の人に感謝でいっぱいです。ありがとうございます。

小6

▽数年前、友だちの祖父母が、私の家の近くに引っこして来ました。そのふうふは、だれもたのんでいないのに、広い公園の草かりや手入れをしてくれています。私は、よくこの公園で遊んでいるので、ふうふが公園の草かりや手入れをしてくれて、とても気持ちよく公園を使うことができます。私は、すごくそのふうふにかんしゃしています。

小5

▽ぼくの家の近くの道を通りかかると、いつもおばさんが野菜をたくさんくれます。その野菜がおいしいので、次に会うと「ありがとうございます。とてもおいしかったです」と言いました。そして、ニコニコして「また食べてね」と言ってくくださるので心が温かくなりました。

小6

▽お姉さんといっしょに犬の散歩をしていると、よくまわりの人が話しかけてくれます。その時に「これ持って行って」と野菜をふくろいっぱいにかけてくれます。私は、その時に心がほっこりします。自分の家でとれた野菜は、自分の家で食べればいいのに、その野菜をわざわざわけてくれる人は、私はやさしさを分けてもらっているように感じます。

小6

▽朝、学校に行く時、黄色の服を着た人たちが横断歩道の近くで私たちを見守ってくれます。その中で歩道の近くに住んでいる人がいます。その人は一人でも毎日見守ってくださいます。おかげで毎日、安全に学校に通えます。ありがとうございます。

小6

▽私が、学校から帰る時、お年よりのおばあさんがいました。そのおばあさんは、いつも「いつてらっしゃい」「おかえり」と言ってくれます。時には「雨がふるから気をつけてね」「学校がんばったね」とやさしく言ってくれます。だから、私も、やさしく「いつてきます」「ありがとうございます」と言います。そうすると、自分も相手もうれしいし、おたがい笑顔になるから、これからもあいさつを笑顔でしたいです。

小5



小5



▽ぼくたちが登校している時に、いつもついてきてくれるおばあさんがいます。そして、1年生の子に声をかけてくれたり、体調が悪い子がいるとつきそってくれたりします。ぼくは、副班長なので、とてもたすかっています。ぼくも、副班長として、たくさん声をかけたりできるようながんばりたいです。

小6

▽近所のおばあさんは、ぼくに会うたびに頭をなでて「わかい力をもらった」と言ってくれるよこびます。これからも力をあげたいです。

小2



小2

おうれしい出来事

▽旅行の帰りにじゆうたいにはまってしまいました。30分以上かかってしまい、やっとサービスエリアについてトイレに走りました。トイレはすぐこんでいて、どうしようかと思っていたら、大人の人が「先にどうぞ」と声をかけてくれました。「良かった助かった」と思い、先に入らせてもらいました。ありがとうの気もちでいっぱいになり、何度も自然に「ありがとうございまして」と言っていました。私も、困っている人を見かけたら、すぐに声をかけられるようになるうと思ひます。とくに、小さい子に気をくばり、ゆづつてあげたいです。

小5

▽ぼくのおせわになつているとこやのおじさんは、今、びようきで休んでいます。おばさんは一人で仕事をがんばつています。ぼくは、二人を元氣にしたくて、おばあちゃんの家で作つたほうぼうしをもつていきました。そうしたら、なん日かあとに、おばさんが「おじさんが『おいしいおいしい』と食べたよ」と言つてくれました。それを聞いて、ぼくがとてもお元氣になりました。おじさん早くよくなつてね。

小3

▽でんしゃにのつたとき、せきをあけてくれた男の人がいました。わたしも大きくなつたら、せきをゆずれるようになりたいです。

小1



小1

▽わたしのお父さんがでん車にのっている時、前のでん車がじこにあって、お父さんは、でん車から出られなくなっていました。すごく長い間とじこめられていたので「だいじょうぶかな？おなかすいたかな？」としんぱいになりました。お父さんはぶじにかえってきて、わたしにでん車の中のことを話してくれました。お父さんは知らない人からパンをもらって食べたそうです。その人はほかの人にもパンをくばっていたそうです。やさしい人がいて、ほんとうに良かったと思いました。わたしもこまっている人がいたら、しんせつにできる人になりたいです。小2

▽夏休みに電車で出かけました。その時は、事故があったので、中はいっぱいでした。電車の中でぎゅうぎゅうになっていたら、すわっていた70代ぐらいの人が「ここにすわっていいよ」と言ってすき間をあけてくれました。私より年上の人だったので「だいじょうぶです」と言いました。私より年上なのに声をかけてくれてうれしかったです。これからは、私もいろいろな人に席をゆずってあげたいです。小5

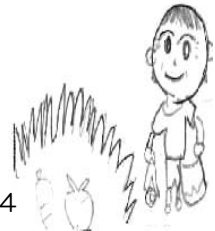
▽おぼんの日。おしようさんにおきようをあげてもらいました。ぼくもいっしょに大きなこえでおきようをあげていたところ「いいこえだね。わたしのあとをついでほしい」と言われました。なんだかすこしうれしくなりました。小2



小5

▽さいきん、道にゴミが落ちているのを見かけます。ゴミを見るといやな気持ちになったり、ざんねんだなあと思う人もいると思います。でも、ごみを見つけてひろっている人もいます。そのおかげで、少しは稲津町がきれいになったと思います。

小4



小4

▽ある日、買い物に出かけました。手に持っていた百円が弟の手からポロツと落ちました。そしてすき間に入ってしまった。手をのぼしても取れなかったの、弟に「あきらめよう」と言うとポロポロと泣き出しました。それを見ていた知らないお兄さんが百円をくれました。ぼくはいい人だなと思いながらお礼を言いました。

小6

▽わたしは、あるお店のトイレの中に自分のかばんをわすれてしまったことがあります。かばんがないことに気がついて、いそいでトイレにもどったけど、どこをさがしてもかばんは見つかりませんでした。おきに入りのかばんだったし、大せつなものも入っていたので、かなしくなってしまうしました。だけど、お母さんが、お店の人にきいてみると、だれかがとどけてくれていました。かばんがもどってきたとき、わたしは、すごくうれしくなりました。もうわすれものをしなないように気をつけようと思ったし、とどけてくれた人にありがとうという気もちでいっぱいになりました。

小2

▽ぼくは、毎年、お父さんといっしょにみずなみの花火大会のゴミひろいに行っています。たくさんの方が町をきれいにするために集まってすごいと思います。花火もきれいだけど、その後の掃除をする人たちのおかげで町がきれいになってとてもうれしいです。

小3

▽稲津の夏まつりで、ぼくはギターをえんそうしました。その時、ギターをひく時に使うピックをみぞに落としてしまいました。友だちもかけつけてくれて、すき間から取り出そうと手伝ってくれました。なかなか取れなくてこまっていたら、ちがう学年の子のお父さんが来て「どうしたんや？ よしおさんが取ってやるわ」とみぞのふたを外してピックをひろってくれました。こまっていたのに気づいて、さっとかけてくれて、いやな顔せずに取ってくれたので、とってもうれしかったです。

小4



小4

▽ある休日、おばあちゃんと高校のえんそう会に行きました。そこでは、みんなのノリがよく会場はもり上がっていました。えんそう会の終わりにおばあちゃんが「ブラボー」とさげび、ぼくはビックリしました。後から話を聞くと、おばあちゃんは「せっかくながらぼっているんだから、それくらいは言っておけないとね」と言っていました。ぼくは、すごいなと思ったし、その通りだと思いい心が温まりました。

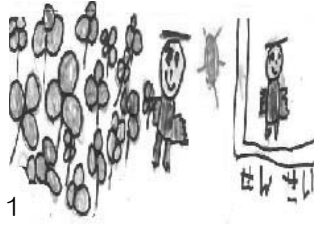
小6

▽私は、今年、委員会の委員長になりました。その委員会は去年もやっていて、Rさんとずっとやっています。だけど、委員長はとても大変で、休み時間がないぐらいでした。いやだなと思ってしまう時もありました。もうどうしようと思っている時、G先生に「あなたは、とつても役に立ってたすかる」と言ってもらい、とつても勇気が出てきました。そして、言われるたびにうれしくなつて委員長を続けることができました。

小6

▽しろうがつここの20分やすみに、ぼくは、よつばのクローバーをさがしている、と、みつばのクローバーのなかから、よつばのクローバーをはつけんしました。うれしくてせんせいにみせると、「おつ、いえにもつてかえる？」といつてせんせいのつくえによつばのクローバーをはさんでくれました。そして、ぼくがかえるとき、ティッシュにつつんでくれました。いえにかえつてクローバーをきかいにいれるとしおりにになりました。いまでもぼくのたいせつなしおりです。せんせいありがとう。

小1



小1

▽私の学校は、夏休み中に読書感想文とプリント集を出します。提出日最後の日に職員室の前に着いた時、入つていいかわからず立ち止まっていたら、一人の先生が来て「入つていいよ」「宿題を出す所はここだよ」とやさしく声をかけてくれたのでうれしかったです。

小5

▽野球の甲子園で、中京学院大学附属中京高等学校というチームが初めて4強に入ったというところがいいと思います。ぼくも野球をやっているけど、地元のチームが甲子園という夢の舞台に行ってくれて、とても感動しました。1年生から3年生の選手まで、あきらめずに戦っていてカッコよかったです。

小6

▽ぼくが、甲子園を見ていた時、感動することがありました。試合の時、相手のピッチャーに水を運ぶ子がいました。正々堂々と戦いたいからだそうです。その思いやりに感動しました。

小6

▽私がバスで学校に行く時、橋の上でいつもすれちがうおじさんがいます。そのおじさんは、ビニールぶくろを持って何かをさがしているみたいでした。何かをさがしているのかな？と思ってから数日後、橋には片方しか歩道がないのに、歩道のない方をそのおじさんが歩いていたのでびっくりしました。次の日、またそのおじさんを見つけました。すると、そのおじさんは、ティッシュっぽいゴミを持っていたビニールぶくろに入れていました。おじさんはゴミひろいをしていたのです。さらに、歩道のない方のゴミまでひろってくれていたのです。おじさん、いつもありがとうございます。

小5



小5

▽ぼくが、小2の時、学校に行きづらく、かあちゃんについてきてもらって学校に行っていました。毎日、さかえ町から学校につくまでの間、かあちゃんと歩きました。と中で、会う人たちの顔がにこにこしていて学校へ行くのがちよつとは自信が持てました。と中のねこにもさわって元気をもらいました。今、ぼくは、分だんでお友だちと通っています。行けるゆう気をもらえた人たちに（ねこにも）かんしゃしています。

小4

▽わたしは、家族でりよ行に行くためにみずなみえきに行きました。電車をまっていた時、となりならんだおじさんが声をかけてきました。「どこかに遊びに行くの？車に気をつけて楽しんでおいで」と言ってくれました。はじめて会ったわたしたちの心配をしてくれるなんてやさしいなあと思いました。うれしい気持ちになりました。

小3

▽私のお母さんは、ちよつとしたことでも「ありがとう」とみんなに言います。私は、最初、たかがティッシュを取ってあげただけで「ありがとう」と言わなくてもいいのにも思いました。お母さんに「ちよつとしたことでも『ありがとう』と言わなくてもいいよ」と言ったら、お母さんは『ありがとう』を言われないうり言ってもらった方が心が温ったかくなるでしょう」と言いました。私は、初めて「ありがとう」の意味がわかりました。

小6

▽私のお母さんは、車を運転している時、周りに気をつけています。わき道から本道に出る時、なかなか本道に行くことができず、こまることがあります。お母さんは本道を走っていて、わき道から本道に行きたい車があるとゆずってあげています。私が、お母さんに「どうしてゆずってあげるの？」と聞いたたら「ゆずってもらえるところれしいじゃん」と言われました。「でも、あまりゆずってもらったことないじゃん」と言うのと「ゆずって、お礼を言われるところれしいから、そうやってゆずりあえることがふえるといいよね」と笑っていました。今、ニュースで、あおり運転によるひ害があると言っています。そのニュースを見て、お母さんのようにゆずり合える人がふえるといいなと思います。

小5

▽「いただきます」の意味をお母さんが教えてくれました。ごはんを作ってくれた人や、野菜を育ててくれた人、魚をつつてくれた人など、そのごはんができるまでにかかわってくれた人へのかんしゃの気持ち。肉や野菜のいのちを自分のいのちにさせていただきますという食べ物にたいするかんしゃの気持ちを表す言葉だと教えてくれました。それを聞いて毎日食べているごはんのありがたさを知りました。ぼくは毎日しっかり手を合わせて「いただきます」と言い、のこさず食べるようになりました。

小3

▽ぼくが自転車で坂を下っていた時に、ころんでしまつて体中から血が出て泣いていたら、バイクに乗った二人組みの人が通りすぎてからもどつてきて「だいじょうぶ？」と言つてくれました。そして、一人の人がバイクで家まで送つてくれて、もう一人の人が、ぼくの自転車で持つてきてくれたのでうれしかったです。ぼくが大人になったら、お兄さんのようにやさしく「だいじょうぶ？」とか言つてあげたいです。

小5

▽きよ年の朝のテレビドラマでごへいもちが人気になりました。でもわたしは、人気になる前からごへいもちが大すき。みずなみでも2けんのお店に行きます。今年の夏休みにながのけんのおばあちゃんの家に行ったときにごへいもちを作りました。そのちいきでもごへいもちをたべます。みずなみのお店で買うのは、おだんごみたいで、おばあちゃんのいえで作るのは、たいらで大きい形です。タレを作つてクルミをすつて、ごはんをつぶして力もひつよう。形がへんになったり、むずかしくても、わたしの大すきなごへいもちをみんなによるこんでもらいたくて、がんばつて作りました。やいたらちよつとこげちゃったけど、みんなはともよろこんでくれました。いっぱい気もちをいれて作つたからちよつとはおいしくなったのかな？またつぎもおいしくできたらいいな。

小2



小2

中學校編



✿ あいさつでニコニコ笑顔	……………	43
✿ 家族っていいな	……………	46
✿ 友だちっていいな	……………	53
✿ がんばった体育大会・体育祭	……………	60
✿ 部活・クラブ仲間とのきずな	……………	62
✿ 地域の人とのつながり	……………	74
✿ ボランティア	……………	76
✿ うれしい出来事	……………	79

▽毎朝、笑顔で挨拶してくれる地域の方がいます。でも私は、少し恥ずかしくて「いってらっしゃい」と言われても、下を向いて小さな声で「いってきます」としか言えませんでした。でも、元気よく「いってきます」と小学生の子が言っていたのを聞いて、しっかりと挨拶してあげたいと思いました。地域の方が、それを笑顔で見送っていて、挨拶をする方もされる方も挨拶するとあったかい気持ちになれることを知り、今では私も笑顔で顔を見ながらしっかりと挨拶ができるようになりました。

中1



中1

▽私が登校していた時の話です。私が歩いていると「おはよう」と地域の方が挨拶をしてくださいました。私もなんだかうれしくなつて「おはようございます」と挨拶をしました。こうした少しいのこともお互いに気持ちよく一日を過ごせることがわかりました。「挨拶」はとても良いことだと改めて思いました。だから、学校内だけでなく、地域に広められると良いと思えました。これからは、挨拶をされてからするのではなく、自分からしていきたいです。また、普段から「挨拶」をしていって、それをより良いものにしていきたいです。

中3

▽登校中、近所の人に毎朝「おはようございます」と言っています。私は、自分でなんでこんなに挨拶をしているのかわかりません。私は一日だけ、全然挨拶をしませんでした。すると、近所の方は心配そうな悲しそうな顔で私を見てきました。私は家に帰ってから考えました。「なぜ挨拶をしないといけないのか」と。次の日、私は近所の人に挨拶をしつかりしました。すると笑顔で私に挨拶してくれました。私はうれしくなりました。挨拶だけでも近所の方々コミュニケーションはとれるので、これからも毎朝元気に挨拶をしていきたいと思いました。

中2

▽私は挨拶をするのが苦手で、挨拶をされても返せませんでした。私に毎日、挨拶をしてくれるおばさんがいて、申し訳ないと思いながらも通りすぎていました。でもある日、いつものようにおばさんの横を通り過ぎようとすると「ちよっと待って」と引き止められ、私の目を見ました。私はいつも目をそらしていたので、突然のことに驚いて、おばさんの方を見ました。すると「挨拶をいつも避けているみたいだけど、挨拶は人と人がつながれる最初の第一歩なんだよ」と言ってくれました。私は、その言葉を聞いて、確かにその通りかもしれないと思いました。すると、少しずつ「自分から挨拶をしてみよう」と思いが沸き始め、だんだん大きくなっていきました。勇気を出して挨拶をしてみようと思い、近所の人に挨拶をすると、笑顔で挨拶を返してくれました。私は心が温かくなっていくのを感じ、おばさんの言葉を思い出して前向きな気持ちになりました。それ以来、地域の人たちに笑顔で挨拶をしています。

中2

▽3年生の前期は生活委員で、朝、少し早く学校に来て挨拶運動をおこなっています。私は最初、挨拶を進んですることができなかつたり、挨拶をされても何も言わなかつたりしました。そんな日が何日か続きました。でも、登校してくる人は毎日、挨拶をしてくれました。生活委員である私が挨拶しないのはいけないと思い、少しずつ大きな声を出せるようになってきました。登校してくる人たちが大きな声でいつも挨拶をしてくれたおかげで、今では人に慣れ、大きな声ではつきりと挨拶ができるようになりました。

中3

▽これは、ぼくが中学校に入学する少し前の話です。その日も普段通り下校していたら、おばあさんがいたので「こんにちは」と挨拶をしました。すると、おばあさんは、ぼくに「君はいつも良い挨拶をしてくれるね。最近は挨拶をしてくれる子も減ったからうれしいわ」と言ってくれました。自分の何気ないことで相手に喜んでもらえたのでうれしかったし、挨拶の大切さを改めて感じました。

中1



中3

家族っていいな

▽私のお父さんは、すごく優しいです。寝坊したら車で送ってくれたり、夏休みのお昼ご飯は、ほぼ毎日お弁当を作ってくれます。他にも本当にいろいろなことをしてくれます。でも私は、素直に「ありがとう」とか言えていないし、素っ気なく「おかえりー」としか言えません。それでもお父さんは、変わらず優しいです。とても感謝しているし、自慢のお父さんです。今はなかなか言えないけれど、いつか絶対伝えようと思います。いつも本当にありがとうございます。

中1

▽ぼくは、卓球が好きで、卓球部に入っています。ぼくのお父さんは、卓球経験者なので、ぼくに卓球の指導をしてくれます。ぼくは、お父さんの言ったことをあまり聞かずにいて「そんなはずはない」と言って反抗します。なのに、お父さんは、ぼくに指導してくれています。最近は、お父さんに教えてもらったことをしっかりと聞いて家で素振りをしたりしています。その結果、一年生の中でナンバー2になりました。なので、これからは、もっとお父さんの教えてくれることをしっかりと聞いて、瑞浪北中学校の卓球部の中で一番強くなれるようにしたいです。

中1



▽私は、ソフトボールをやっています。野球・ソフトボールは、他のスポーツと比べて道具が多いと思います。練習から帰ってくると、お父さんが全ての道具を洗ったりみがいたりしてくれませう。前の練習の時、当番で来ていた親さんが「いつもスパイクきれいだね。すごいね」と言ってもらいうれしくなったことがあります。これは、お父さんが、忙しくても疲れていてもいいねいに洗ってくれているからだと思います。そんなお父さんに感謝の思いが伝わるプレーをしたいです。これからも、全ての道具を大切にいいねいに扱っていきます。

中1

▽私は、陸上部に所属しています。今年の中体連は3年間の中でも特に大事な大会です。東濃大会が行われる日に、朝早く父から長文のLINEが送られてきました。内容は、去年、私が悔しい思いをしたこと、私が毎日頑張っているのを見ていたこと、応援しているよってということ。私の頑張りが家族に伝わっていると知り、うれしかったです。

中3

▽私は、今、中3で受験生です。今年こそは絶対、単元でも実力テストでも、しっかりと勉強して良い点数を取る！と心に決めて勉強に励んでいます。そして、期末で私の苦手な数学と理科で良い点数が取れました。本当にうれしかったので、お母さんに見せました。するとお母さんはこう言ってくれました。「あんたはできる子なんだから」と。この言葉は、今までにも言われていました。ですが、中3になった今の私の心に安心感と親の温かみを感じました。

中3

▽私は、お母さんと買い物に行きました。欲しかったアクセサリーや、部屋をアレンジするものなどたくさん買いました。そして、ハンバーガーやポテト、タピオカをシェアして飲みました。たくさん話して、いい夏休みの思い出になりました。得をしたのは私の方なのに、お母さんは「今日、お出かけしたら、疲れやストレスがなくなっただよ」と言ってくれました。これから大人になってもお母さんとお出かけして、何気ないことで笑い合ったり、話したりしていきたいです。そして、仕事や家事を頑張っているお母さんの気分転換になったらいいなと思います。

中3

▽私は中3なので、そろそろ進路を決めなければいけません。けれど、進路はこれからの人生を楽しくするためや、将来の夢を叶えたりするためにとても大事なことです。なので、いつも相談ののってくれるのは母と父です。「自分の行きたい道に進めばいい」と行きたい高校を話した時も否定せず、応援してくれました。そんな母と父に恩返しできるように頑張りたいです。

中3

▽ぼくは、剣道をやっています。最近はクラブや稽古、部活などで母さんに送迎してもらっています。母さんは、残業の日が多いのに、毎日、剣道のある日には早く帰ってきて送ってくれます。でも母さんが早く帰ってこられない日には、友達のお母さんや祖父が送ってくれます。ぼくは、周りの人に支えられながら、剣道ができることに感謝しています。この感謝を行動や成績で伝えられるように頑張りたいです。

中1

▽私は、今年、陸上部に入りました。練習や大会がたくさんあります。そのかげには家族の支えがあります。練習の時には、私より早く起きて飲み物を準備してくれたりと送っていつてくれます。そして、大会の時には、集合時間がとても早いのに、お弁当を栄養やバランスを考えて作ってくれます。そして、大会での私の走りを見に来てくれることもあります。その時には、アドバイスや良かったところを教えてくださいます。そのおかげで、課題を意識して練習をすることができます。私が陸上を充実して行えるのは、親が良い環境をつくってくれているからだと思います。だから、これから感謝しながら陸上をしたいです。

中1

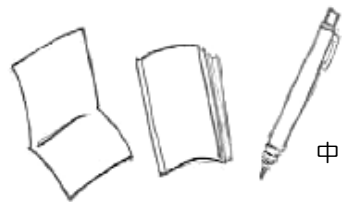
▽ぼくのお父さんとお母さんは料理屋で働いています。朝早くから夜遅くまで仕事をしていてぼくはすごいと思いました。休みの時にも、ちゃんと仕込みなどきれいでできていてすごいと思つたし、セツトなども縦横きれいにそろっていたので、料理人は大変な仕事だと思いました。中1

▽私の兄は就職して家族にプレゼントを用意してくれました。私も他の家族もとってもうれしく、ものすごく喜びました。家族みんな笑顔になってとてもいい時間でした。私はそんな素敵なお時間を過ごせたこと、兄の家族を思う気持ちに心が温かくなりました。私も家族に感謝の気持ちをしつかり伝えていきたいです。

中3

▽私には高校3年生の兄がいます。兄は県外の県立大学を目指しているので、平日も休日も帰りが21時過ぎになることが多いです。今は、朝と夜に少し会うくらいです。兄は、数学が得意ですが、私は苦手です。私は、数学でわからないところがあつたので兄に聞きました。母に「兄は忙しいから」と言われてだめかなと思つたのですが、兄は母に「いいよ。ぼくの勉強になるから」と言つて私に教えてくれました。前にも兄は全然できない私に、私がわかるまで何度も教えてくれました。私は今でも数学が苦手ですが、わからないところは確実に減りました。自分のことで忙しいはずなのに、私に教えてくれた兄には感謝です。

中3



中3

▽兄は、いつも家族の前だと態度が悪いです。そんな兄ですが、ある時、私が料理を作つてあげたら「おいしい」と笑顔で言つてくれました。そう言われた時、すごくうれしかったです。中〇

▽夏休みのお昼は、親がいないので、祖父母の家でご飯を食べます。その時いつも、やさしい言葉をかけてくれます。祖父は「宿題でわからないところはある？」と聞いてくれるし、祖母は「早く宿題が終わつたら遠くに遊びに行きたいね」と言つてくれます。優しい言葉をかけてくれる祖父母が大好きです。

中1

▽私の祖母は、先日、脑梗塞で倒れてしまいました。命に別状はないですが、少し、しびれがあり、うまく立てず車いすの状態です。体の右側は感覚がなくなり、言葉もうまく話せませんでした。「病院に運ばれた」と母から聞いた時はとても悲しくて信じられませんでした。祖母に会いに行った時、点滴をして苦しそうでした。そんな中、私が「おばあちゃん…」と話かけると、笑顔で名前を呼んでくれました。その時はうれしかったのですが、悲しさの方が大きかったです。また、祖母に会いに行くと、リハビリを終えた時でした。言葉も少しずつ話せるようになってきました。祖母は、毎日リハビリを頑張っています。「なぜそんなに頑張っているの？」と聞くと、「早く退院して家で誕生日会をやりたいから」と言っていました。祖母の誕生日はもうすぐです。祖母の願いをかなえるためにも祖母をサポートし、誕生日当日は喜んでもらうため、笑顔で祝ってあげたいです。おばあちゃん、リハビリ頑張れ！

中1

▽私は、あまりおばあちゃんに会いに行けません。でも、久しぶりに会いに行ったら「遠いところからありがとう。うれしい」と泣きながら言ってくれました。私はその言葉を聞いて、泣いてまでうれしいと思ってくれて、ひさしぶりだったけれど行って良かったと思いました。今後はもっと会いに行きたいと思います。

中3

▽ぼくは、中学2年生の時に、テストの点数がとても悪い時がありました。それでも、家族のみんなには、その悪い成績や点数を見せないといけないので見せています。父や母は「もつと頑張りなさい」と言うけれど、祖母は「学校に行ければそれで充分」と言ってくれます。ぼくは、プレッシャーを感じることなく今も勉強を頑張っています。

中3

▽私の祖父は1年前に亡くなりました。祖母は一人で暮らしています。だから、私は、祖母に毎日電話をかけていろいろなことを話しています。祖母は毎日「いつも一緒に話してくれてありがとうね。今日も頑張つて！」と言ってくれます。だから私も「頑張ろう！」と思えます。おばあちゃん、ありがとう。

中3

▽ぼくの祖母は老人ホームで働いています。もうすぐ70才なのに、お年寄りのために踊ったり新聞を読んだりして喜ばせようとしています。そんな祖母は「スーパーおばあちゃん」です。

中2



中2

☆友だちっていいな

▽私は勉強が嫌いです。特に数学が苦手です。ある日の数学の授業で、私はプリントの問題1からつまずいてしまい、わからずに焦って頭の中が真っ白になってしまい、周りの友だちにも迷惑をかけてしまったと思います。私は少し涙目になって必死に涙をこらえていました。家に帰って部屋でたくさん泣きました。でも最近、ある子に「勉強は自分のペースでやればいいんだよ。理解することが一番大事だから」と言われました。その一言がとてもうれしかったし、その子にはとても感謝しています。勉強は嫌いだけど、これから頑張って覚えていこうと思います。

中2

中2



▽私には、あこがれの先輩がいます。その先輩は、運動がとても得意で足も速いです。それだけではなく、頭も良いです。私が勉強のことで困っていたら、優しく分かりやすく教えてくれました。私が小学校を卒業した時には「卒業おめでとう」と言ってくれてとてもうれしかったし、卒業アルバムにもメッセージを書いてくれました。メッセージには「中学校は小学校と比べていろいろ大変だけど、勉強などで困ったことがあったら聞いて」と書いてありました。このメッセージを見た時、とても温かい気持ちになりました。

中1

▽私は、大好きな友だちがいます。一緒にいて楽しいし、大好きなグループの話もします。その子は私と一緒にいてくれるのですが、私よりすっごく頭が良いです。私の成績は、学年で下の方ですが、その子は10位以内にもいます。「大丈夫。そんなことで友だちじゃなくなったりしないよ。一緒にがんばろう」と言ってくれました。私ももう少し頑張ります。

中1

▽私の学校の体育の授業のことです。私たちはクラス対抗のソフトバレーをしていました。チームの中で失敗した子がいても励ましてあげて、点が入った時は、みんな喜んでいたので思いやりがあるなと思いました。失敗した子を責めるのではなく、成功してみんな喜んでる姿がとてもいいなと思いました。

中2

▽ぼくは、12才の時、友人Aに理不尽な怒りをぶつけてしまった。理由はどうでも良いことだったし、今思えばバカらしいが、それでも当時のぼくはそんな風に考えられるほど冷静な判断ができず、そのまま家に帰った。寝る前に、Aのことを思い出し「明日の学校気まずい、何すればいいのかな？」などと考えながら寝た。次の日、通学路が一緒のAと出会った。とりあえず、ぼくは「おはよう」と言って「昨日は変な風に怒ってごめん」と言った。正直、許してくれるか不安だったが、Aは許してくれた。そして面白い話をしてくれた。ぼくは、広い心を持った人間を友だちにできてうれしかった。

中2

▽私は、家庭の事情で一ヶ月間学校に行けませんでした。しかも、その学校は4月に合併したばかりで、私は、二日間だけ学校に行きました。でも、二日間だけ行っても、みんなと仲良くすることはできませんでした。だから、一カ月後、学校に行くことが少し不安でした。それでも、学校に行つて教室に入ったら、みんながうれしそうに私の名前を呼んでくれて、とてもうれしかったです。今では、みんなと仲良く学校生活を送っています。

中3

▽私が少し、体調が悪かった時の話です。その日、次の時間が移動教室でした。移動教室なので、たくさんの荷物をかかえて歩かなくてはなりません。でも、その時の私は、荷物を持つて歩くと、体調が悪化してしまいそうでした。そんな時、クラスの女の子が気をつかつて荷物を持ってくれました。私は、その行動に、とても優しいなと感じました。なぜかという、瑞浪北中学校は今年3校が合わさったので、違う小学校の子も多く混ざっています。今回、助けてくれたのは他校の子です。小学校が違つても、仲間のことを思い、行動してくれてありがたかったです。私も次、困っている子がいたら、他校の子でも、頼まれていなくても、進んで手伝い、その子にとつて思いやりのある行動だなと思つてもらえる行動をたくさんしていきたいです。中1



中1

▽3つの中学校が統合して、人見知りなぼくはとても不安に包まれていました。そんなぼくに、新しく出会った子が、ぼくが昔から呼ばれていた親しい呼び名で声をかけてくれてとてもうれしかったです。ぼくも、その子の呼び名で声をかけています。なので、今となっては不安はほぼ0になりました。

中2

▽私が通う瑞浪南中学校は、陶小学校、稲津小学校の二つの地域の人が通っている学校です。入学したところは、知らない人が半分ぐらいいて不安でした。なかなか話せず、戸惑っていました。でも、優しく声をしてくれたので、今ではたくさん話すことができるし、クラスがとても仲良くなることができました。みんなと仲良くすることができてとてもうれしいです。

中1

▽私は、友だちとボランテニアに参加しました。その時、地域の方からの質問になかなか答えられずにいた私を、友だちがさりげなくフォローしてくれました。困っている人を当たり前のように助けられる友だちを心からすごいと思いました。

中3

▽私がバレーボールで落ち込んでいる時、友だちが優しく声をかけてくれたので、うれしかったです。私もそういう時は、優しく声をかけてあげられるようになりたいと思いました。

中2



中2

▽私にはとても仲の良い友だちがいます。すごく気が合っていて、話をしているときすごく楽しいです。仲が良いこともあって、良く喧嘩をします。そうすると、その日一日は全く話をしません。その日は少し寂しいけれど、次の日、何事もなかったかのように友だちは、私に笑顔で話しかけてくれます。私は、そんな友だちが大好きです。

中3



中3

▽クラスのキャンペーンで呼びかけが聞こえなくて困っている時、友人KさんとMさんが、ぼくの呼びかけに気づいて一緒に呼びかけを手伝ってくれました。その姿を見て、まねをしたいと思います。ぼくは、これから人に頼られる人になりたいし、呼びかけに応える、呼びかけるを今まで以上に頑張っていきたいです。

中3

▽私には、何か相談したり、聞いてほしいことを話すと、まるで自分のことのように聞いてくれる家族や友だちがいます。悲しい時には、私以上に悲しんでくれて、うれしい時には私以上に喜んでくれて、いつも相談すると心が晴れます。何でもない時も、楽しい話をたくさん聞いてくれるし、聞かせてくれます。周りの人たちに本当に助けられています。

中3



中3

▽少し前のことでした。私の隣のクラスのS君が一人で頑張って給食の配膳台や食缶の用意をしていました。本当はあと二人S君のグループの人が手伝うことになっているのですが、最近、全然手伝わず、友だちとしゃべっていました。私はS君が一人でやっていたかわいそうだと思ったので、その日からできるだけS君の仕事を手伝うようにしました。ある日、S君と一緒に配膳台などの仕事をやっていたら、H君が手伝ってくれました。別に「手伝ってほしい」とも言っていないのに、手伝いに来てくれたH君がすごくかっこいいと思いました。苦しい時に、誰かが助けに来てくれるとすごくうれしいことに気づきました。これから先、苦しんでいる人がいたら、助けたいと思えました。

中3

▽ある日の朝、教室で水がこぼれていました。その時は、部活の前でみんな忙しく、誰もふかないままでした。でも、部活から帰ってくると水はなくなっていました。関係のない一人の男の子がふいてくれたのです。私は、自分でなくてもやるという気持ちがとてもすごいいました。

中1

▽私は、係活動で級長をしています。人前で話すことが苦手なので、すごく緊張していたら、同じクラスのAさんとBさんが、笑顔でうなずいてくれたり、いい姿勢で話を聞いてくれて、すごく安心しました。私も緊張している子に声をかけてあげたり、姿で自信を持たせてあげたいです。

中1

▽お友だちの誕生日に動画を作りました。その子の誕生日当日に動画をあげて「下手でごめんね」と送ったら「動画うまいよ！ありがとう」と言ってくれたので、とてもうれしかったです。だれかのためにがんばるのっていいなと思いました。

中3



中3

▽ぼくは、英語が苦手なので、とても困っていました。そんな時、英語が得意な子が来て教えてくれました。文法や単語など教えてくれたので少しわかるようになりました。とてもうれしかったです。「ありがとう」と言うと、友だちもうれしそうにしていたので「ありがとう」ということは大切だと思いました。これからぼくも、何かを教える時がきたら、しっかり教えてあげられるようにしていきたいです。

中3

▽中学校での係の仕事は、いろいろとやることがあり大変でした。すると、私の友人Aが「手伝うよ」と私の係の仕事を手伝ってくれました。結果、家でやろうと思っていた仕事までやってくれました。友人Aは、私が何も言っていないのに仕事を手伝ってくれて、ありがたいと思ったり、すごいと思いました。私もこれからは、誰かが困っていたら、自分から手伝いにいきたいなと思いました。

中3

☆がんばった体育大会・体育祭

▽体育祭があり、ぼくはとても緊張していました。一番緊張したのは、全校リレーです。リレーがスタートし、ぼくの番がまわってくる時、後ろから「頑張れ」と言われました。ぼくはその一言で背中を押され、緊張がほぐれました。また、その子だけでなく、地域の人の声援も耳に入ってきました。ぼくが走っている途中、友達の親さん、家族、知人から「○○頑張れ」と言われ、また背中を押され、心が温かくなりました。

中3



▽体育祭の時に、他の学年の競技中でも、同じ軍が勝てるように必死に応援するクラスメイトの姿がありました。自分たちが勝てるために自分たちの競技だけを応援するんじゃないやなくて、他の学年の人たちも勝てるように「頑張れー！」や「先輩頑張つて」という声かけができていて、人思いなクラスだなど思いました。自分も先輩方を応援しましたが、他の子は自分よりはるかに声を出していて、応援だけで声をからす子もいました。そんな姿を自分にも取り入れたいし、日常生活でも活かしたいです。

中1

▽ぼくのちよつといい話は体育祭です。なぜかというと、他の学年が競技をしている時に、みんなが団席で応援をしていました。ぼくは、みんなすごいなと思いました。他の学年で競技をしていないのに、全力で大きな声で応援していました。みんな勝ちたいと思っっているんだなと思っつてすごくいいなと思いました。

中1

▽体育祭で友だちが大縄や他の種目の時に、誰よりも声を出していました。「ドンマイ」や「切りかえていこう」など仲間を励ましている声がありました。声かけをすると、クラスがまとまっている感じがしました。この体育祭を通してクラスの絆が深まったと思います。ぼくも励ます声が「大丈夫」や「OK」などをしていったり、励ます行動をしていきたいと思っています。

中1



中3

☆部活・クラブ仲間とのきずな

▽ぼくは、野球をしています。クラブはキツくて、すごく大変です。上手くできなくて落ち込んでいる時には、いつも仲間が励ましてくれます。ぼくは、今までこの仲間がいたからずっと野球を続けられたのだと思います。これからもお互いに励ましあって頑張っていきたいです。 **中2**

▽ぼくは、中学校に入学して、野球のクラブに入りました。初めは「野球が上手になりたい」という気持ちもあったけど「練習についていけないかな」や「わからないことがあったら大変だな」という気持ちもありました。しかし、2・3年生の先輩方は、守備やランナーの時の動きを丁寧に教えてくれました。また、片付けの仕方など、知らないことも教えてくれました。だから、ぼくも、先輩から教えてもらったことを忘れず、これからも頑張りたいです。そして、今の2・3年生のように、後輩から慕われる先輩になりたいです。 **中1**

▽ぼくが、初めて野球クラブの練習に行った時、緊張してあいさつができませんでした。そんな時、U先輩が「一緒に練習するよ」と声をかけてくださいました。そしたら緊張が無くなり、楽しく練習することができました。U先輩が声をかけてくださったおかげで、他の先輩にも話しかけることができました。すごく良い先輩と出会えて良かったと思っています。 **中1**

▽ぼくは、野球を習っています。3年生の最後の試合の時、ぼくはキャッチャーをやって、おしくも負けてしまいました。今までの試合でエラーをしてしまつて、いろいろ足を引つ張つてしまいました。この試合に負けたことがすごく悔しくて、3年生にこの今までの気持ちあまり言えなかつたけど、3年生の先輩方が、先に「ありがとうな！次の代でも頑張れよ」と言つてくださったので、すごくうれしかったです。

中2

▽ぼくは硬式野球をやっています。ある日の試合の時に、チームメイトの足に相手の投げた球が当たり、足を抱えてその場にしゃがみこんで、とても痛そうでした。他のチームメイトがコールドスプレーを持つてその子の場所に行きました。すると、相手チームの人もコールドスプレーを持つてきて「大丈夫ですか？」と言つてくれました。ぼくは、その姿を見て心が温かくなりました。チーム関係なく、助け合えることは、とても素晴らしいと思いました。

中3

▽私は、ソフトボール部のキャプテンでした。その中で、指示を出すことや、チームプレーの難しさを学びました。私が悩んでいた時に、コーチが声をかけてくださいました。その言葉を聞いて、私は、引退するまで頑張ることができました。悩んだこともあつたけど、約3年間、ソフトを続けてきて良かったです。

中3



中3

▽私は、今、ソフトボール部のクラブに入っています。ソフトボールのコーチが「ソフトボールは最高のスポーツだよ」と教えてくれました。なぜ、最高のスポーツなのかというと、自分が失敗しても、仲間がフォローしてくれるし、自分が誰かをアウトにしたり、いいバッティングをしたら「ナイスバッティング」や「どんまい」と声をかけてくれるからです。私は、ソフトボールクラブに入って良かったと思いました。

中1

▽この話は、私がソフトボール部を引退する前の話です。ある日、練習試合のため遠征しました。私は守備でライトを守り、バッター4番をしていましたが、守れず打てずで、悔しくて泣いてしまいました。今まで出していた声も出すことができませんでした。その時、S監督が「声出せよ！お前が声を出さなかったら、このチームは負けなんだよ！」と言いました。私は、自分が必要とされていることを知ってとてもうれしくなりました。でも、私が声を出していない時、仲間任せにしてしまつて迷惑をかけてしまつて申し訳ないという気持ちでいっぱいになりました。私は、S監督のおかげで、仲間のために声を出すことができました。その後、私は、声を出して頑張りました。もう引退はしたけれど、S監督の言葉を忘れずに頑張りたいです。

中3



中3

▽私は、ソフトボールをしています。ある日の練習試合の時、泣いている1年生の女の子がいました。「どうして泣いているの？」と聞くと「打てなくて悔しかった」と言ってきました。その仲間に寄り添って「次は絶対打てるよ！」などと励ましの声をかけ合っていて、とても温かいなと思いました。これからもチーム一丸となって頑張っていきたいです。

中2

▽これは、ぼくが陸上の中体連の県大会に出た時のことです。初めての県大会でも緊張していた時に、友だちM君が「アップ一緒に行ってあげるよ」と言ってくれました。おかげで、ぼくは緊張がほぐれて、良い状態でアップができました。その後も荷物を運んでくれたりして、とても助かりました。その後、M君は「とても良かったよ！お疲れ様！」と声をかけてくれました。人のために動ける人ってすごいなあと思いました。

中3

▽ぼくは、陸上をしています。そして、大会で6位以内に入って県大会に出場することになりました。競技開始まで30分前。時間がどんどんせまって不安を抱えていると、みんなが「期待しているよ！」「頑張つて」などと励ましの言葉をくれたり、緊張をなくすためにいろんなサポートをしてくれました。自分のためにこんなに多くの人が応援してくれて、自信を持って大会に挑もうと思いました。競技が終わり東海大会に出場することが決定しました。みんなのおかげでいい記録が出せました。

中1

▽陸上の県大会。陸上は6位までの入賞者が東海大会へ出場することができません。そんな県大会の決勝前。私は、1500 mの選手で、リレーの前の最後の個人種目競技でした。その前にあった110 mハードルの先輩がスタート前に「絶対、東海大会決めてくるから」と言っただけでスタートにむかっていきました。結果、5位入賞で東海を決めました。走り終えた先輩は「ほら、絶対行けるから頑張っただけ」と言ってくれました。私は、この言葉で「絶対負けない」と強く思うことができました。私の結果は6位に入り東海大会へ行けました。実行して見せた人からの「絶対」という言葉は自分を信じる大きな力になります。

中2

▽私は、陸上部に入っています。陸上は頻繁に大会があり、その大会に向けてたくさん練習をします。大会では、いろいろな学校の子が来て、とても緊張します。ある大会の日「あつ！あの子、見たことがあるな」と思ったけど、なかなか話しかけることができませんでした。そうしたら、その子が「前の大会にもいたよね！」と話しかけてくれました。とてもうれしかったし、今でも会ったら手を振ってくれます。それがきっかけで、自分から他の学校の子にも話しかけることができるようになりました。今ではたくさんさんの友だちがいます。大会や合同練習は、あまり好きではなかったけれど、友だちができてとても楽しになりました。やっぱり、友だちはたいせつだなとわかりました。

中1

▽部活動の大会がありました。その時、私はとても緊張していて、足が震えているような状態でした。本番直前、とても不安な気持ちでしたら、友だちが近くに来て「○○ちゃんならいける!」「大丈夫」と言って大きな声で応援してくれました。とてもうれしくて、その応援のおかげで少しだけ勇気が持てました。結果は、自己ベスト記録が出て、自分の中では満足できる結果になりました。本当にその友だちに助けられました。

中3

▽私は陸上部に入っています。一ヶ月ぐらい前から長距離に変えて、毎日ついていけるようにがんばっています。初めて長距離で大会に出た時に、県の大会ですごく観客席の人が多かったのに、私を応援する声が聞こえてきてうれしかったです。その日は、自己新が出たので、きつとその応援のおかげでもあると思いました。

中1

▽ぼくは、中学に入ってから陸上をはじめました。最初は、全くみんなのペースについていくことが難しかったけれど、練習を頑張ることの積み重ねによってトップにつけるようになりました。これは、ぼくが足を痛めた時のことです。足を痛めてから3大会連続で走ることを禁止されて、陸上をやめようか迷っていた時、友だちのK君たちが「大丈夫?」「早く良くなるといいね」などの声をかけてくれたので、とてもうれしかったです。治ったらもう少し陸上を頑張ろうかと思いました。

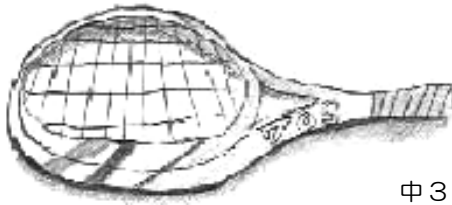
中3

▽私は、陸上をやっています。ある日、同じ陸上クラブの先輩とLINEをしていました。そこで、私は「自分の目標タイムを近いうちに出したい」という思いを伝えました。そうしたら、先輩は「近いうちというか、次の大会で絶対出せると思うよ」と返してくれました。その先輩は、全国大会を目指せるほど速い選手です。そんな先輩が言ってくれた言葉を大切にして練習しました。先輩ももう引退です。先輩のように短距離を引つ張っていけるようなリーダーを目指しながら今日も私は目標に向かって練習を重ねていきます。

中2

▽ぼくは、2年半ソフトテニスクラブでSコーチに教わりました。3年生の最後の中体連県大会に出場した時、準決勝で負けてしまい、決勝へ進むことができず、Sコーチに「敗因は、お前の練習量が足りないからだ」と強く言われ、悔しい思いをし、コーチに見捨てられたと感じていました。でも、むかえた東海大会。ここで踏ん張れば勝てるという時に「お前が一番練習で努力してきたんだろ。自分に自信を持てよ」とコーチが言いました。その時「ハッ」として見捨てられていなかったと思ひ、踏ん張ることができました。あの時、厳しい言葉を言ったのは、この時のためだったと思うと、Sコーチの教え子で良かったと思います。

中3



中3

▽ぼくは、ソフトテニスクラブに入っています。部活としては引退ですが、クラブ員として所属しています。最初は、団体戦にギリギリ出られる程のクラブでしたが、今は後輩を含めて20人程になっています。ぼくたちのチームは、団体では東海出場、個人ではベスト18という結果となりました。ぼくは試合には出ていなくても、最大限の応援でサポートできたと思います。そして、最初の目標である全国出場の夢をかなえてくれた主将と2年間指導してずっとほめることのでなかったコーチが、本気で泣いて悔しがってくれて、本当に大切にしてくれていたんだなど改めて実感しました。本当にありがとう。

中3

▽今年の夏でぼくの中学校のテニスが終わった。ペアと共に勝ち進み、全国大会に出場することができた。だけど、2回戦負けという結果になってしまった。今まで支えてくれたコーチにはとても感謝している。コーチは「今まで良くがんばった。一番大変だったな。お疲れ様」と声をかけてくれた。涙が止まらなかった。今まで一生懸命頑張って良かったと改めて思った。

中3

▽部活としてやっていた剣道で自分よりも技術が上の友だちに「前よりも強くなったね」の一言をもらいました。この一言のおかげで練習のやる気や、もっと強くなりたいという気持ちを持つことができました。

中3

▽ぼくは、バスケット部のキャプテンをしていました。中体連までチームのみんなと頑張ってきました。中体連一週間前、ぼくは熱が出てしまい、運動ができない状態でした。そこから一週間かけて頑張つて治し、その週の土曜日が中体連でした。朝、練習をしていると、チームのみんなが心配してくれました。試合の結果は負けてしまったけれど、バスケット部に入つて、たくさんの良い仲間を支えられて3年間を終えることができたので、とても良い3年間でした。チームのみなさん、3年間いろいろあつたけど、本当に楽しかったです。ありがとうございます。

中3

▽ぼくは、バスケット部に所属しています。そのクラブでは、ベスト4を目指して一年間頑張ってきました。夏からたくさんえらい思いやつらい思いを乗り越えてきました。練習試合でも勝ち進んでいけるようになりました。けれど、K先輩が腰と足の骨を折ってしまいました。疲労骨折で今まで頑張ってきた証でした。とてもつらそうでした。「試合に出ることはできるのか」というぐらい痛そうでした。しかし、K先輩は出ました。何度もぶつかって痛みを感じさせないプレーでした。終盤にも連続3ポイントシュートを決めました。その姿は感動を覚えるものでした。今は、ぼくたちの代です。K先輩の意思を継いで頑張っていきます。

中2

▽私は、クラブで新体操をしています。夏休みは一日練習ばかりでつらくて、心が折れそうなきがありました。「ノーミス」という目標で練習してきましたが、なかなかできません。私は、キャプテンですが、思っていることを言うことが苦手です。夏休みは暑くて練習の質も落ちてきます。そんな時、先生に「キャプテンは嫌われるのが当たり前だから、怖いのは今だけよ。自分が変わるチャンスだよ」と言ってくれました。だから私は、メンバーに対して思っていることを言いました。そこから、みんなの練習姿勢も良くなりました。試合では、5人で協力しておどろきることができました。自分の苦手なことには目を背けたくなると思いますが、勇気を出して挑戦することで良い結果が自分に返ってきます。だから、これからもたくさんの方に挑戦していくことを頑張りたいです。

中3

▽私は、新体操をやっています。ギリギリ団体を組める人数になり、練習をしています。私は、団体が少し苦手で、動きがずれたりします。でもそんな時に、いつも団体メンバーの子が、改善点を考えて教えてくれます。その声かけのあるおかげで、少しは上手くできるようになりました。なので、次の団体メンバーは、下級生が二人増えるから、声かけを頑張り、盛り上げていきたいです。

中2

▽私は、吹奏楽部で、クラリネットをやっています。でもなかなかうまく吹けないことが多くあって、その時に同じ吹奏楽の先輩が、やさしく教えてくれたので、前より上手に吹けることができました。私もその先輩のようにやさしくアドバイスなどできるようにまねしたいです。

中1

▽私の学校の吹奏楽部は、地区大会で金は取れたけど、県大会には行けませんでした。でも、いろんな人から「演奏聴いて感動したよ」とか「こんな小さいのに大きなチューバー一人でやってすごかったよ」と言われました。これから私は、結果よりみんなに感動される上手なチューバ奏者になりたいです。

▽私は、ブラスバンドクラブに所属しています。1年生なので、美濃源氏七夕まつりでデビューしました。出演する前に楽器運びをしていた時に熱中症になってしまいました。自分の不注意でなってしまったのに、保護者の方や、先輩が気にかけてくださりうれしかったです。でも「自分の不注意でなってしまったのに…」と申し訳ない気持ちになりました。なので、この出来事を生かして、こまめに水分を補給し、汗をかいたら塩分も補給することに気をつけて活動していきたいです。また、周りの人に迷惑をかけないように行動することも大切だとわかったので、できるだけ迷惑をかけないように行動できるよう意識したいです。

中1



中1

中2

▽私が卓球クラブでコーチに敵しいことを言われ続け、落ち込んで家に帰ってきたことがありません。私は、言われたことで卓球をやめたいと思っていました。その時に、祖母が「コーチは上手になって欲しい、勝たせてあげたいという思いの愛情表現だよ。できるように自分なりに努力すればいいんだよ」と言ってくれました。私は、その言葉により、最後まで卓球を続けることができました。目標であった優勝ではなく、準優勝だったけど、3年間頑張り続けて出せた結果は最高の思い出です。

中3

▽私は、幼稚園の時から、あるピアノ教室に通っています。ピアノを弾くことは好きですが、中学生になり部活を優先して、あまり弾かなくなりました。なので、ピアノ教室に行っても上手に弾けず、通うことが嫌でした。でも先生は、どんなに下手でも優しく教えてくださり「暑いけど部活頑張ってるね」と毎回応援してくださいました。落ち込んでいても、ピアノを通して励ましてくださる先生に感謝を言いたいです。

中3

▽ぼくが部活の最後の東濃大会が終わり、引退が決まった日、後輩たちが記念品と寄せ書きをプレゼントしてくれた。そこには、感謝の気持ちを書かれていた。キャプテンとしてみんなを引っ張っていくのは、とても難しかったけど、頑張ってきて良かったと思った。

中3

☆地域の人のつながり

▽私には、いつも応援し励ましてくれる近所のおばあさんがいます。小さい頃から会えばいろんな会話をしていました。でも、私は、大きくなるにつれて、照れて恥ずかしくなってしまうて、挨拶も小さな声になっていきました。でもおばあさんは、そんな私に変わらず優しい笑顔で声をかけてくれます。「買い物に行ったらおいしそうだったから食べて…」と私にお菓子を買って届けてくれます。すごくうれしいのに「ありがとう」と言うのが精一杯な私。おばあちゃん、お菓子食べて頑張るからね！いつも私を優しく見守ってくれてありがとう。

中1

▽ぼくの住んでいる所には、おじいちゃんやおばあちゃんがたくさんいます。中2の終わりごろ、いつも通り下校していたら、目の前で歩いてたおばあちゃんが転んでしまいました。なので、ぼくは、体を起こしてあげて家まで連れて行ってあげました。次の日、そのおばあちゃんと会って「あんたみたいな子があって本当に良かったよ。ありがとう」と言ってくれました。とてもいい気持ちになりました。

中3

▽私が塾に向かっている時、近所のおばさんに「どこ行くの？」と聞かれました。「塾に行きま
す」と言ったら「朝早く大変だね。すごいね」と言われました。私は、最初、眠いし面倒くさい
な〜と思っていたけれど、おばさんに「頑張つてね！」と言われて、眠くて面倒くさい気持ちが
なくなって、気持ちが楽になり、とてもやる気が出ました。

中2

▽中学校2年生になって、勉強も部活もより大変になってきました。なので、少しずつ元気がな
くなっていきました。ある日の下校中に、近所のおばさんが「最近、学校どう？」と声をかけて
きました。それに対して「まあまあですね」とぼくは返しました。するとおばさんは「いつも元
気でいることが大事だよ。自分を信じて頑張つて！」と励ましてくれました。地域の人に優しく
してもらって心が温かくなり、頑張ろうという気持ちになりました。

中2

▽小学校低学年の頃の話です。私は学校から帰ってきたら、家の鍵が無くて中に入れませんでした。
た。仕方なく家のウッドデッキに座ってお母さんを待っていると、となりの家のおばあさんが声
をかけてくれてお菓子をくださいました。とてもうれしかったです。私も、人に親切にできる人
になりたいと思いました。

中1

★ボランティア

▽私は、地元の大湫祭りではボランティアをしました。先輩二人と同級生と私の四人で千本引きを担当しました。その日は、気温が高くすごく暑かったので想像よりも大変でしたが、幼稚園児や小学生の子がたくさん来てくれました。一人の子が、千本引きの景品をもらった時に、すごくうれしそうに私たちに「ありがとう」と言ってくれました。それに、祭りが終わる時に、大湫の大人の人にも「今日はボランティアをしてくれてありがとう」と言われました。私はその感謝の言葉で「ボランティアをして良かった」と心から思いました。また、大湫には、こんなに良い人がいるんだということも改めて感じました。また、ボランティアをする機会があったら、自分から積極的に参加したいです。そして、地元以外の人にも大湫の良さをたくさん知ってもらいたいと思いました。

中1

▽大湫町のボランティアに参加しました。町一丸となって行なった祭りは、とてもおもしろくてやりがいがありました。祭りが終わった後に、地域の方々が「ボランティアに参加してくれてありがとう。また来てね」と言ってくれました。この言葉を聞いて、またボランティアに参加しようと思いました。これからもたくさんさんのボランティアに参加して地域貢献したいです。

中2



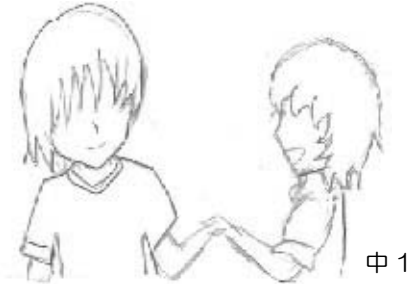
中1

▽よくぼくは、ボランティアに参加します。その時にあつた話です。ぼくが、ゴミ拾いをしてると、となりに何も言わずにおじいさんが来ました。「何をしているのだろう？」と疑問に思っていたら、ゴミを拾い始めました。ぼくは、そのおじいさんを心優しい方だと思ってお礼を言いました。しかし、なぜ一緒にゴミを拾ってくれるのか疑問に思ったので、聞いてみると「自分たち人間が地球をどんどん汚し、さらに今では町の中にゴミを捨てる人がいるからね」と優しく言ってくれました。ぼくは、その時、世の中には、こんな優しくして周りのことをしっかり見ている人がいるのだと、心が温まりました。

中2

▽初めてボランティアを行なったお祭りでは、すごく緊張しました。私は、盆踊り、フォークダンスなどを踊りました。知らない踊りばかりだったけど、地域の人が教えてくれたおかげで楽しく踊ることができました。祭りに来てくれた人たちが進んで踊りに参加してくれたし、みんなでたくさん笑い声をあげながら、参加することができたので、良かったです。一回の祭りだけで、たくさんの人たちと触れ合うことができたという感じがすごいことだと思いました。

中1



中1

▽ぼくはボランテアに積極的に参加しています。その中で心に残っているのは、自分の地域の夏祭りでのボランテアです。この時、ぼくは、司会進行という大役をもらいました。ぼくは、放送のことなら何度かしたことがあるので、その知識をいかしてがんばりました。時間の短い仕事だったけど、周りで「上手だよ」と言ってくれる人が何人もいてうれしかったです。

中1

▽稲津には道路の脇に小さい花壇が作ってあります。その花壇は季節ごとにシルバーの人が、ボランテアで季節に似合う花をきれいに植えてくださっています。その花を見ると心が穏やかになってきます。ありがたいなあと思います。ぼくの地区は、どんな花壇にしたら良いかアンケートを取り、よりきれいに見てもらえるように責任者の人がそれぞれの案を考慮して決め、シルバーの人が日を決めてみんな楽しんで植えてみます。いつかぼくも参加してきれいな花を植えたと思います。

中2

▽この前、インターホンが鳴って出ると、近所のおじさんが「草刈りをしているので気をつけてください」とわざわざ教えに来てくれました。ちょうど昼くらいで暑いのに、町をきれいにしようとしてすごいと思いました。草刈りが終わって見てみると、刈った草もきれいに片付けてあったし、前よりもすごくきれいになっていたので驚きました。ぼくも、地域のボランテアなどに参加してきれいになりたいと思いました。

中1

おうれしい出来事

▽私のとなりの家には、いとこが住んでいます。わたしのいとこは二人で、一人はまだ赤ちゃんなので、いとこのお母さんは大変です。そんな時、もう一人のいとこと遊んであげると、いとこのお母さんは「ありがとう」と言ってくれてうれしかったです。やっぱり「ありがとう」という言葉は大事だなと思いました。

中2



中2

▽私がスクールバスで下校する時「お願いします」「ありがとうございます」を必ず言うようにしています。ある日、私がいつものようにバスを降りて「ありがとうございます」と言うと、運転手さんが「気をつけて帰ってね」と一人ずつに声をかけてくれました。私は、その時、お礼を言うのは大切だなと思いました。

中2

▽私が学校に登校する途中に、ビニール袋を片手に持ち、ゴミを拾いながら歩いている方がいます。私も町をきれいにできるように、すすんでゴミ拾いをできるようにしたいです。

中3



中2

▽私が道を歩いていたら、ゴミが落ちていました。私は通りすぎようと思ったけれど、みんなが歩く道だからきれいにしようと思い、ゴミを拾いました。すると、近くにいたお年寄りの方が「若いのにえらいね。ありがとう」と笑顔で言ってくれました。私は、ゴミを拾って良かったなと思いました。そしてこれからも、ゴミが落ちていたら自分から拾って、周りの人を笑顔にしていきたいです。

中1

▽私が、電車で出かけた日のことです。その日は混雑していてなかなか座れませんでした。やっと席を見つけて座ることができました。そうしたら、次の駅で小さな子どもを連れた男性が乗りました。私は、その親子を見て、譲った方がいいかと思いました。でも勇気が出ませんでした。すると、一緒に出かけていた先輩が迷わず私に言いました。「あの人たちに席を譲ろう！」私は「はい！」とうなずき、親子に話しかけに行きました。「よかつたらどうぞ」先輩はそう言い、私も「どうぞ」と一声かけて譲りました。私は、迷うことなく席を譲る先輩がすごくかっこいいと思いました。今でもすごいあこがれです。私たちが電車を降りようとした時、さっきの男性が立ち上がって頭を下げて「本当にありがとうございました」と言いました。私は、その言葉でとてもうれしくなりました。だから、これからも電車に限らず、困っている人がいたら、迷わず助けてあげたいと思います。

中1

▽ある日、いとこと電車で遊びに行った時です。電車の中には優先席というものがあり、普通、高齢者の方や妊婦さんなどが利用するはずです。しかし、電車の中が次第に混んできたのに、ある10代後半ぐらいの男の人が優先席に座っていました。次の駅になると更に混んできたので、私は、前に立っていたおばあちゃんに席を譲ると、おばあちゃんは笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。その笑顔で私はほっこりしたけれど、まだ、優先席に座っている男の人に少しイラつとしていました。すると、いとこがその男の人に向かって「ここは優先席ですよ。あなたみたいに何も考えず座る人はどうかと思います」などと言いました。その男の人は、頭を下げながら次の駅で降りていきました。私はこの時、いとこみたいに勇気を持ってちゃんと判断して注意や行動ができるようにしたいと思いました。

中3

▽私が買い物をしていた時、1円足りなくなっていました。すると、後ろにいたおばあさんが、困っていた私を見て「1円どうぞ」と渡してくれました。本当にもらっていいかわからなかったけれど「返さなくていいからね」と笑顔で言われた時は、本当にうれしかったです。私もこんなことができる人になりたいと思いました。

中2



中2



中1

▽ぼくとホームレス男性にあった話

名古屋に行った時、町外れに男性が座っていました。その男性は「一週間くらい前にさいふを失くした」と言っていました。ぼくは、その男性がかわいそうだったので、お金をあげることになりました。すると、その男性は、泣いてくれて、ちよつと感動しました。しかし、その後の行動に感動しました。その後、男性はコンビニに行きました。しつかり自分の生活する物を買っていましたが、その残ったお金を募金していたのです。とても優しい人だと思い感動しました。

中3

▽習い事の帰りに、中京学院大学附属中京高等学校の野球部の部員の人、車に向かって礼をしていました。練習で疲れているはずなのに、礼儀を忘れずに礼をしていたことに感動しました。硬式も軟式も強豪で、全国的にも有名です。やはり強いチームは礼儀もきちんとしているなと思いました。硬式野球部のみなさん、甲子園出場おめでとうございます！軟式野球部のみなさん、開幕試合がんばってください！

中2

▽ぼくが、友だちと遊び終わり、自転車で家まで帰る途中、前を歩く女性が「あぶない」とつぶやいた。何だろうと思いついてそこを見ると、小さな花だった。ぼくは今までそこまで気にせずにはいた。もしかしたら、踏んでいたかもしれない。小さな物にも気をつかうその女性を素敵だと思った。

中3

▽ぼくが歩きスマホをしていると、前から来ているおじさんが、ぼくに「あぶないぞ！」と注意してくれました。今まですれ違う人には何も言われなかったけれど、注意してもらい、自分がダメだと気付くことができ、今は申し訳なくなりました。注意されることのありがたみに気付けました。

中3

▽ある日、ぼくは、嫌なことがありました。すると、先生が気付いたのか「大丈夫？」と優しく声をかけてくれ「話そっか」と言って話をしました。話をしていると、ぼくは泣いてしまいました。自分でも何で泣いているかわからなかったです。でも先生は、「いいよ。ここで泣きな」と優しい言葉をかけてくれました。そうしてぼくは、今までであったことを気にせず生活できています。その先生のおかげで今でも楽しく生活できています。先生が担任で良かったです。ありがとうございます。

中3

▽学校で行なった研修の高山でのグループ別行動の時の話です。ぼくのグループは、主に食べ物を中心にまわっていました。その時に見つけたカキ氷のお店に入ると、ぼくのグループは四人しかいなかったのです、二人で一つのカキ氷を食べて節約することにしました。すると、それを見て察した店員の方が、分けるための皿を余分にくださいました。本当に良い店とは、店と人との接し方で決まるのだなと改めて思い感心しました。

中1

▽3年生で行く東京研修で、私たちは、おすもうを見に行きました。私はルールを理解できていなかったけれど、わからなくても楽しめる雰囲気で、かなり盛り上がっていました。すると外国人の男性と女性が「Please take a picture」と言ってきたので、私は緊張しながらも写真を撮りました。「満足したかな…」などと考えていると、外国人の人たちは、とてもうれしそうに「Thank you」と言ってくれ、自分の席に戻った後も、何度もこつちを見て、とてもうれしそうにお礼を言ってくれて、うれしくなりました。「こういう経験もいいな」と思ったし、心がとても温かくなりました。

中3



▽私が、外出先で、弟と二人きりになった時のことです。その時、私は、のどが渴いたので、自販機で水を買いました。しかし、キャップがかたくてなかなか開きません。私が困っていると、一人の外国人の男性が近づいてきて、無言でキャップを開けてくれたのです。言葉が通じ合わなくても、心を通じ合わせることはできるんだなと感じ、とても温かい気持ちになりました。私も、その男性のように、どんな人にも勇気を出して親切な行動がとれる人になりたいと強く思った瞬間でした。

中1

▽ぼくは「稲津ミュージッククラブ」という音楽サークルに入っていて、今年の夏もライブがありました。ぼくは、友だちと一緒にやっているバンドのドラムをしていて、毎年、曾祖母が観に来てくれます。ライブも終わり、お客さんが帰っていく最中、曾祖母が一人イスに座ったまま会場に取り残されていました。何事か聞きに行くと「迎えが来ない」とのことでした。すると、曾祖母の顔見知りの方が来て、迎えが来るまでずっと付き添ってくださったのです。そして、曾祖母は無事に家に帰っていきました。今、曾祖母は100歳になりました。こうして元気に100歳を迎えられたのも、たくさんの人々の支えがあるからこそと気付かされた出来事でした。

中2

▽私のおばあちゃんは、障がい者で、ヘルパーさんに来てもらっています。やってもらっているとわかっているけれど、おばあちゃんは頑固なので、少し気に入らないことがあると、ヘルパーさんに、ああしなきゃこうしなきゃと言ってしまうです。でも、ヘルパーさんはおばあちゃんに優しくしてくれます。どんなに言われても表に出さないヘルパーさんはすごいと思います。でも、時々、おばあちゃんができなかったことをヘルパーさんのせいにしてしまうことがあります。そんな時、ヘルパーさんはおばあちゃんと話して、怒ってくれて、おばあちゃんと向き合ってくれます。私はいくつになっても、自分のために怒ってくれる人がいるっていいことだと思っています。

中1

▽私の祖父母の家では、1匹の犬を飼っています。祖父母は昔から犬が好きで、この1匹に加えて、4匹の犬たちも家族のように大切にしてきました。しかし、もうこの家には1匹しかいません。4匹は天国に行ってしまったのです。そして、今いる1匹も体調を崩し病院に行きました。病院で待っている間も、つらそうに顔を見つめては目をつぶることを繰り返していました。検査後「肺炎」といわれる病気にかかっていることがわかりました。点滴を打つたため、3日間入院することになりました。私はとても悲しい気持ちでした。治る病気だけど、もしものことがあれば…。とても不安でした。その時、お医者さんはこう言いました。「大丈夫ですよ。犬は17歳まで生きられるんですから」この犬は今、14歳です。この言葉を聞いて私は、気持ちが少し楽になりました。このお医者さんは動物の病気を治すだけでなく、飼い主さんの心のケアもできる本当にステキなお医者さんだと感じました。そして、3日後、無事に1匹の犬は帰ってきました。その顔は病院で私を見つめていた顔より元気に見えました。いつまでも元気でいてね。

中3

▽昨年の11月ごろ、ぼくの家で飼っている犬が脱走しました。ぼくの家は家族はもちろん、いとお父さんやぼくのおばあちゃんや、学校の友だち、警察の人たちが犬を見つけようと探してくれました。そのおかげで、翌日、家の犬を見つけ出すことができました。とても心が温まりました。

中3

▽私が、横断歩道の近くを歩いている時に、小学生が横断歩道を歩いていました。渡り終えた後、停まってもらった車に向かって大きな声で「ありがとうございますありがとうございました」とおじぎをしながら言っていました。私も普段から礼はするけれど、口に出して言うことがないので、声を出して「ありがとうございますありがとうございました」と言いたいです。このことで、私は、声に出して言うことが大切だと思いました。思っているだけでは伝わらないし、感謝の気持ちには声に出さなきゃもつたないし、言われて嫌な人はいないと思うので、声に出すことが大切だと思いました。

中1



中1

▽私たちの学校は、自然が近くにあつたりして草などがたくさんはえています。その草をOBの人たちが日曜日に必ず刈りに来てくれていてるそうです。この話を聞いた時、自分の育った学校をこれから使う生徒のためにきれいにしようとするのがすごいと思いました。

中1

▽私が、お母さんとおでかけをしている時、サンダルが壊れてしまいました。歩きづらくイスに座って地図を見ていたら、宝くじのおばさんが輪ゴムをくれて、クツやサンダルを売っているお店を教えてくださいました。そのおかげで、後の買い物は、楽しくできました。私は、宝くじのおばさんみたいに困っている人がいたら、助けられるようにしたいと思いました。

中1

▽私が、テレビを見ていると、外から男の子の声でしたので、窓から外を見てみました。外には泣いている男の子がいて、泣きながら私の家の前の道路でウロウロしていました。私は、どうすれば良いかわからず、ずっと外を見てみると、私の家の前に住んでいる男の人が「どうしたの？」と声をかけていました。その子と男の人は、少し話してから手をつないでどこかに行きました。数分後、男の人が帰ってきて、数十分後には、その子とお母さんが手をつないで歩いてきたので、男の人が家に連れて行ってくれたんだと安心しました。私は、何もできずにただ見ていることしかできなかったのですが、困っている人がいたら、すぐに声をかけてあげられる男の人みたいになりたいです。

中2

▽私が旅行で伊勢に行った時の話です。私の父の弟の奥さんは、車いすで生活しているので、その日はクルーザーに乗る予定で、乗れるかなと心配していました。クルーザーに乗る時に車いすなどの重い物を持たなくてはならなくて危険なこともあったけど、周りの人たちが協力してくれたおかげで、みんな安全に乗ることができました。周りの人たちの温かさに感動しました。

中2



▽春休みの朝の出来事です。ぼくは、自転車に乗ってクラブの練習に向かう途中、角を曲がると、一人で困ってみえるおばあさんがいました。ぼくは、気になったけれど、恥ずかしさもあって、自分から声をかけることができませんでした。おばあさんは、ぼくに気付いて「軽トラックのタイヤがパンクしてしまつたから電話を貸して欲しい」と声をかけてきました。でも、ぼくは、電話を持つていません。恥ずかしくて声をかけられなかつたぼくだったけれど、自然に体が動いて近くにいた方に「すみません。携帯電話貸してください！」と声をかけていました。その方は「えっ！」とびっくりした様子でしたが、状況を説明すると「わかつたよ。後はまかせて。野球遅れちやうから行っていいよ」と言つてくださいました。ぼくは「ありがとうございます。お願いします」とペコリと頭をさげ、自転車を走らせました。学校に向かう途中、ぼくはうれしいような笑顔になる温かい気持ちでいっぱいになりました。ふるさとである瑞浪市が、小さな子どもからお年寄りまで、みんなが笑顔あふれる温かい町になっていったらいいなあと思ひ、これからは、困つてゐる方がみえたら恥ずかしがらず自分から声をかけようと心に決めた1日でした。 中2

▽買い物に行つた時、小さな女の子がいました。知らない子だつたけれど、ふと目が合った時「にこっ」と笑つてくれました。その女の子の笑顔で私もうれしくなつて笑顔になりました。そうやって小さな子が人を笑顔にできるのがいいなと思ひました。私も人を笑顔にできる人になりたいです。 中2



中2

▽今年から朝部活が無くなったため、私は毎朝20分ほど自主練習を行っていました。自主練習を始めて1ヶ月半ほど経ったある日、私は地区のお祭りのボランティアに参加しました。私がお店の受付をしていると、お客さんのお母さんが「いつも練習頑張っているね！」と声をかけてくださいました。一人だけで練習するのはつらいし、逃げ出したくなることが多いけど、見てくれている人がいたかと思うと、とてもうれしかったし、一人じゃないんだと感じられました。これからも自分のためにも周りの人のためにも練習をして、自分の夢を叶えられるようにしていきたいです。

中2

▽私は中3の夏から、夏期講習へ通うことになりました。そこである日、自習室で勉強をしていると、ちよつと疲れて上を向いたら「夢は逃げない、逃げるのは、いつも自分だ」と書かれた紙を見つけました。この言葉は※高橋歩さんが放った言葉です。この言葉を見たとき、「確かに」と思いました。過去を振り返ると最初は頑張って取り組んでいたけど、だんだんさぼったり、あきらめたりして、自分が立てた目標を自分で曲げることになってしまっていたのです。だから、この瞬間、夢が叶わないのも、目標を達成できないのも、すべて自分が言い訳を作って逃げているからだと感じました。今の自分には、心の底から叶えたい目標や夢があります。だから、昔の自分ではなく、新しい自分が日々絶えない努力で、自分の目標や夢を叶えたいです。

中3

※日本の実業家・エッセイスト

一般編





▽運転免許証を自主返納してからは、歩ける範囲が広くなり、歩いて出掛けることが多くなった。いつものように散歩ついでに市役所へ行ったある日のこと。突然、携帯電話が鳴った。登録していない番号からだった。自主返納をして以来、マイナンバーカードを身分証明書としてホルダー付きのケースに入れて、大事に持ち歩いていた。電話は、そのケースを拾ったという人からだった。確かにズボンのポケットなどを探してみたが見当たらない。電話の人に尋ねると、道路に落ちていたとのことだった。

最近、高齢者を狙った詐欺や個人情報悪用した犯罪が多発していることはよく知っていた。だからマイナンバーカードは、大事にしていたはずだった。

私は、落とし物を受け取るため、電話の人（社会福祉協議会に勤めている女性）のもとを訪ねた。礼を述べ、持参した菓子折りを差し出すと、一言「そんなつもりで電話をしたのではありません。お気持ちだけで結構です。」

こんなご時世にもこんな人がいる。心が温まり、嬉しい気持ちになった。

80代

▽朝の出勤時、横断歩道前の小学生の兄弟に気づき、車を停めました。渡り終えた兄弟は、くるとこちらに振り向くと、帽子を取って一礼。何とも礼儀正しくかわいらしい姿に心温まり、今日も一日がんばろう！という気持ちになりました。ありがとう。

40代

▽ある日の朝、子供を車で駅まで送っていく途中のことですが、朝の通勤、通学の方が歩くその中に、ビニール袋を持った男性が、歩きながら道路や歩道に落ちているゴミに気付いて拾っている場面を見かけました。どこの方かはわかりませんが、とても気持ちの良くなる出来事でした。

50代

▽朝、駅前通りを車で通る時に、北中学校生が横断歩道で待っていることがあります。渡つてもらうように一旦停止すると、渡り終わった後に私の方を見て深々とお辞儀をしてくれます。車が歩行者のために停まることは当たり前のことですが、朝からとてもいい気持ちになります。瑞浪市の子どもたちが明るく素直で、そしてまっすぐに育っていることを本当にうれしく思います。

40代

▽誰かの姉なのでしょいか。朝、登校中の児童たちを見送っているセーラー服の子がいました。こちらはただのおじさん。黙って通り過ぎようとしたら、私を見つけた女生徒の方から「お早うございます」と声をかけられました。思わず大きな声で「お早うございます」と応えましたが、とても気持ちの良い日となりました。

かつて、自分もそのように小学校に通ったのでしよう。妹・弟たちを優しく見守り、地域の方に挨拶する快活さ、彼女に幸多かれと願わずにいられません。

50代

▽題目とはかけ離れた体験を紹介します。

サービズ職の一環にも余りにも横柄な態度に遭遇。初めての出来事でした。盆も近くして郷里の墓参りにデマンドバスを利用、その日は雨模様で傘を用意し、ロータリーより始発で乗る。目的地の近くの停留所で下車し、それからが一苦労。曲がりくねる岩道を幾重にも曲がりようやく頂上に共同墓地あり、その一角にたどり着く先祖代々の数基の墓名を清め、香花を手向ける。そうしているうち、雨が降り出し次第に本降りとなり、もつと丁寧に掃除したいと思うも無念な気持ち残し坂を下りる。でもバスはまだ二時間も先しか来なく、仕方なく一つ先の停留所まで妹と歩く。それでもまだ一時間もあり、途方に暮れ雨の中で待つ。ようやくバス到来。待ち構えやれやれと乗るやいなや運転手さんの一声に耳を疑う。「降りてくれ」構わず無視して乗り込む。そして悪態にあう。「若い子なら良いに」そして続く。「でもまだ杖をついてないだけましか」と。乗り込む早々に傷つく言葉の連発に怒りも滑稽に感じるまでに。会話交わしも苦笑。因みにバス終点まで誰も乗車なく、妹と二人の貸切状態。瑞浪より山岡まで初めての乗車の珍道中でした。でも八十路近くして御先祖様の墓参りの達成に充実し忘れえぬ一日でした。「ちよつといい話」としよう。

70代

▽長野の孫娘は幼い頃から車が大好き。特にトラックに憧れ「誕生日のお祝いは何がいい？」と聞かれ「つなぎ服」をリクエスト。届いた年賀状は、オレンジのつなぎ服を着ていました。小学生から車の専門誌を読み、トラックが沢山並んだ近くの運送屋さんの社長様にもお願いして間近でトラックを見て運転席にも座らせていただき憧れは実現しました。

15歳になって「H自動車学園に行きたい」と教頭先生にお願いし、面接の練習もしたそうです。1月10日受験し、22日合格通知。制服採寸日は女の子が6名来たそうです。私は、入学前の3月初めに長野に会いに行きました。お別れの時、孫に「応援しているね」と声を掛け、手を振りました。お世話になった沢山の方々に感謝。そして「ありがとうございます」と手を合わせました。孫は、トラック製造技術者として勉強し、2年生から4部門中の1専門課程を選び学習。3年生にアメリカで2週間ホームステイをしてトラック工場の見学をしました。笑顔が素敵でした。孫娘の希望に娘も娘の旦那様も反対はしなかったそうです。クラブ活動が必須で3年間継続する規定ですが、何と軟式野球に入学。女子は練習試合しか出られないそうですが、頑張っています。成長が楽しみです。

60代

▽家族でご飯を食べているときに、10歳の長女が言った言葉。

「バーバとママが作ってくれるご飯は美味しいね、いつかこれを引き継げるのかなあ」
食卓の空気が温かくなりました。

30代

▽〈母より命のメッセージ〉

忘れる事の出来ない昭和19年のある夜、空襲警報のサイレンが鳴り渡り、またかと思ひ電灯を消した時、お隣のAさんがただならぬ声で「西町の方に火の手が：早く○○ちゃんを背負って学校の方に逃げよう」と助けの手を差し伸べてくださった。子どもを背負わせてもらい、日頃より用意してあつた非常袋を持つひまなく裸足で6才の長男の手を引き外に飛び出した。辺りは暗闇、人のざわめきと悲鳴を耳に前方で「○○さん」と呼ぶ声を頼りに橋までたどり着きました。学校にも火の手が上がっており、土手を滑り落ちる様にして橋の下で夜明けを待ちました。川の中を流し灯籠の様に焼夷弾が流れておりました。橋の下での数時間、全く記憶がありません。土手を上り、家の近くまで来たら一面焼き野原、熱気の残る焼け跡で、ただ呆然としてみると、Aさんと再会し、命の無事を喜びました。主人が応召中で途方に暮れている私どもに何かと親切にしてくださいました。終戦記念日が来るたびに、今は亡きAさんを偲びつつ黙祷いたします。

〈母亡き後、兄嫁より渡された母より命のメッセージ〉

何かの折に書き留めておいたのでしょうか。感謝あるのみ。

Aさんはその後、結婚して瑞浪に住む私どもの家まで母と一緒に遊びに来てくださいました。笑顔が忘れられません。

70代

▽登山に出掛けた。今日は山登り日和。晴天である。でも心の中は曇天。歩き始めたが、足どりが重い。気分も重い。汗がしたたり落ちる。ますます気分が滅入る。そんな中、すれ違う登山者から「こんにちは」と声がかかる。私は恥ずかしげに小さな声で「こんにちは」と応える。すれ違う人たちとあいさつを繰り返すうちに、声も大きくなり、こちらから「こんにちは」と声をかけるようになっていた。どういう訳か、重い気分も心の曇天もすっかり晴れ晴れとすっきりしていた。人との触れ合いが、こんなにも私たちの心を気持ちよきことを改めて実感した一日であった。

70代

▽子どもたちと買い物に行くと、子どものペースになり、不完全燃焼で終わることがあります。今日も子どもがぐずりだし、抱っこしながらカートを押し、お菓子売り場に来てようやくやく機嫌が良くなったと思うと「抱っこ」と叫びだしました。忘れた食材を取りに戻る気力もなく、会計を済ませ車に戻る途中、カートが引っかかり袋から食材が散乱、ため息が出ました。やっと車に着すると、後ろから「お手伝いさせてください」と女性の声がありました。微笑みながら「安いと買ってしまふのよ」と言いながら、荷物を車に運んでくれてカートを戻しに行ってくれました。「ありがとう」しか言えなかったけれど、もつと「ありがとう」と言いたかったです。モヤモヤしていた気持ちもなくなり、これで良いのだと思えた瞬間でした。子どもたちにもこの優しい気持ちも教えたい。私もこの思いをわすれないと思った一日でした。

30代

▽私が春から仕事を変わり、今までよりも朝の出勤が早く、夕方も帰りが遅くなりました。慣れない仕事にヘトヘトに疲れて帰ってきて、子どもたちにもイライラ当たってしまったたり、反省の毎日です。それでも子どもたちは、いつも元気でニコニコと「ママお疲れさま！いつもお仕事やゴハン作りありがとう！」と言ってくれて、本当に毎日パワーをもらえて頑張っています。二人ともいつもありがとう。

40代

▽昨年、家族で奈良へ一泊二日の旅行に行きました。娘たちは当時、年長さんと小3であり、興味ないだろうなあと思いつつも行きました。本物の東大寺大仏や平城宮跡の観光地を巡り、特に上の娘は昔の人の生活と比べて今は恵まれている事や、生活が便利になった事が学べたようです。そんな中、上の娘が、私に手紙をくれました。内容は、今までパパとママのおかげで楽しく生活ができ、現在の自分の生活が豊かである事の感謝の心が書かれていました。娘とは激しい口論となる事も多くなり、成長とはいえ難しいなと思っていたので、娘からの手紙はとても嬉しかったです。「ママのスマイルで自分は元気になれる」「いつもスマイルなママでいてね」との言葉に私自身も娘や主人からたくさん元気をもらっているのに気がつけました。誕生日、自分が伝えたいと思った時など、よく手紙を書いてくれる娘。その手紙を、仕事で悲しい事があつたりした時に開いて読むと「よし！頑張らなきゃ！」と思うことができます。だから、毎日、その手紙を持ち歩いてお守りにしている私なのです。ありがとう娘ちゃん。

30代

▽最近、息子はアニメのカードゲームにはまっており、休日、ゲームコーナーへ行っては、夢中になってゲームを楽しみます。強いキャラクターのカードがもたらした時は、キラキラした目で熱心に説明してくれます。私はそんなカードをたくさん集めてもお金もつたいたいとか、ゲームに夢中になり過ぎるのもどうか…と思いつつも息子が嬉しそうにゲームをし、話す姿を見て夢中になれる事は素敵なお事でもあると一緒になって楽しんでます。ある日、スーパーのゲームコーナーでゲームをしていると、同じ学校の6年生の子が来て一緒にゲームを見て話をしていました。その子もこのゲームが好きでカードを持っていました。すると、カードが出る時「良いカードが出ますように！」と手を合わせ祈ってくれたのです。そうしたら、出た事のない良いカードが出たのです。息子も、そのお兄ちゃんも「うわー！」「すごい！」と大興奮！自分がもたらしたわけではないのに、息子と大喜びしてくれる姿を見て、私も嬉しく微笑ましく、そのカードと共にそれ以上に息子たちはキラキラしていました。

40代

▽小学校・中学校、一度も学校を休まず、市広報に9年皆勤の紹介記事が載りました。その後、たまたまおつかいで寄った薬局でレジを済ませ帰ろうとした時、薬局の店員さんに「広報に載ってたね。9年間がんばったね。すごいよ」と言ってもらいました。知らない人からほめられてうれしかったです。

40代

▽数年前から近所のスポーツクラブに通っている。忙しかったり体調が整わなかったりで、随分とご無沙汰することもあるが、何とか細々と通いつけている。体を動かせば、気分は爽快、やる気も出て効果は絶大。それだけでなく、同じように通って来る仲間の皆さんやインストラクターの方々との触れ合いや会話も楽しく、気分転換が図れて精神衛生にも良い。先日は、久し振りに顔を出すと、「しばらく顔を見なかつたけど大丈夫?」「元氣そうで何より。」など、そこでしか会わない方々だが、色々と声を掛けていただきありがたいことである。人生終盤ともなれば、人と触れ合う機会も段々と少なくなっていくのは淋しいかぎりだが、こうした機会はできるだけ持ち続けたいと思っている。

60代

▽小学校での運動会の一コマです。

紅白対抗綱引きで、両軍とも勝つ気満々で準備をしています。ピストルの合図で、両軍一斉に力の限り、綱を引いていました。結果、我が子のチームは、負けてしまいました。その発表の際に、勝ったチームは大声を上げて飛び跳ねて大喜びをしていました。一方、悔しがっていた負けたチームの子達も相手チームを称えて拍手をしていました。相手を思い遣る、我が子の成長を垣間見た気がしました。

50代

▽我が子は、3人ともスポーツ少年団から野球をやっています。

子供も野球が好きではありませんでしたが、礼儀や挨拶、協調性を身に付けさせたい親の想いもありました。3人とも、家を出るときは「行つてきます」車に乗るときは「お願いします」と、元気な声掛けをして練習に出掛けていました。現在は、長男は高校で、次男は中学で、三男はスポ少と、それぞれ野球を続けていますが、今では一番ちびの三男が元気よく、家でもグラウンドでもハキハキと挨拶していて、こちらも気持ちが良いります。年齢を重ねるごとに、照れくささや恥じらいからか、声が小さくなって残念ではありますが、いつまでも野球を通じて得た仲間や培ってきた経験、周囲への感謝の気持ちを大切に、一生の財産にしてもらいたいと思います。

50代

▽娘が中学生の頃、友達と夏祭りに遊びに行き、いろいろ楽しむ中で金魚すくいをしたいが体調不良でできなかったので、友達が代わりに金魚すくいをやってくれたようで、家に帰って来た時に、うれしそうに大漁の金魚をみせてくれました。今でもその時の金魚が水槽で泳いでいます。

50代

▽子供たちが、ニコニコしながら何かを考えていました。「どうしたの？」と聞いてみると、「おじいちゃん、おばあちゃんにありがとうを伝えたいけど、どうしたら喜んでもらえるかなあ」と考えていました。敬老の日の数日前のことでした。子供たちは自分のできることを考え、感謝の気持ちで敬老の日に伝えました。私は、子供たちが、数日前からソワソワ、ニコニコ考えている姿を父母に伝えたら、そう思ってもらえることに幸せを感じ、感謝、感謝と涙を流していました。とても心温まる瞬間でした。

40代

▽機会があつて、自衛艦の見学に名古屋の埠頭に行つたときの事です。案内をしていただいた海上自衛官が、戦後、吉田首相の言葉を引用して「自衛官は日陰の身が良い。自衛官が脚光を浴びるときは、国が危ういときだ」と話されたのを、同行した彼は大変感動して聞いていました。

彼は、長らく地域の防災のため、尽力されています。自分の姿と重ね合わせたのだと思います。「仕事、生活に忙しいんです。なぜ、防災訓練をするの。ここでは、水害も地震も起きていないでしょ」多くの人は、防災に協力的ではありません。

でも彼はあきらめません。近所で、地域で、災害で肉親が亡くなって悲しむ姿を見たくないからです。

「寝ていた時に地震が起きたら、どういう姿勢をとる？」今日も、彼は熱心に説いています。微力ながら私も、彼のお手伝いをしていきます。

50代

▽私は今、病院に入院中です。6年前から両親の介護をしていました。母が先に施設へ入所し、私と父の二人の生活が始まりました。姉が愛知県に居ますが、来るのに時間がかかり、60代ということもあり、夫も若い時、頭の手術をしているので、私の面倒も何週間も看ることが出来ずにいました。私もそのうち調子を崩してしまい病院に入院してしまいました。父も認知症を患い、私と同じ病院に入院し、去年99才で世を去りました。初めのうちは、父を失った悲しみからなかなか抜け出せなかったのですが、最近、大湫コミュニティセンターに行けるようになり、好きな本（料理や新幹線の本）を読むことが出来るようになりました。天気の良い日は、10分程歩いて通っています。コミュニティセンターの皆さんもよくしてくれてありがたいです。少し良い感じになってきました。

60代

▽朝の、車での通勤時の話です。

道路を走っていると、横断歩道で二人の小学生の女の子が、車が止まるのを待っていました。私も、急いでいましたが、一旦停止し、渡るのを待っていました。対向車線の車はなかなか止まってくれませんでした。しばらくして真っ黒な車高を下げた大きなセダンが止まり、車の中から手を振って「渡れ、渡れ」の合図を。子供たちは手をあげて元気に横断して行きました。よく見ると、止まったのは、いかにも走り屋の、勢いのよさそうな若い兄ちゃん。道路交通法を守っただけですが、なんかほっこりする朝の出来事でした。

50代

▽あるスーパーマーケットで買い物をして家に帰り、財布がないことに気づきました。とても不安な一夜を過ごし、朝一番でスーパーマーケットに電話をすると、サービスカウンターに届けられていました。何も失ったものもなく手元に戻ってきました。良い人に拾ってもらえてとても良い気分になりました。

40代

▽25歳の息子に諭されたお話です。

ある日、息子を助手席に乗せ、信号の無い交差点を右折する場面でした。なかなか発進しない前にイラつき、つつい息子に愚痴を漏らしてしまいました。すると息子から思わぬ反論が…。「お母さん、なんで待ってあげれんの？前の人は、このタイミングでは行けない判断やったんや。自分の感覚でイラッとしたら人として残念やよ」との言葉でした。親としての恥ずかしさと、社会人として成長した息子の頼もしさも感じられる私にとって嬉しいワンシーンでした。

50代

▽妻と息子2人と電車で出かけた時、電車内が混雑していたので、入り口近くで立っていると隣に立っていた男性が、「うちにも2才になる孫がいるんですよ」と話しかけてくれました。息子以外の景色や、駅に止まっている電車を見せてくれ、退屈そうにしていた息子は、楽しそうに笑っていました。

30代

▽わがままな義父の介護の大変さを愚痴っていたら、友人から「どうせ介護しなきゃいけないから、モヤモヤしながらやっても自分が疲れるだけ。お義父さんに「ありがとう！」って声をかけながらやってみたら何か変わるよ」と言われた。状況的には「ありがとう」なんてとても思えないんだけどな、と思いながら、まずは言葉かけから始めてみた。繰り返すうちに、以前より自分の中のモヤモヤ感は薄らいだように思え、何となく言葉に心がついてきたような感覚があった。それから、だいぶ時間はかかったけれど、私の「ありがとう！」が義父に伝染したのか「ありがとう、すまんかったな」と私を労ってくれるようになった。とてもうれしかった。言葉ひとつで心が軽くなったり、関係が改善したりする。他人は変えられないけれど、自分を変えられる。人間関係で苦しんでいる人がいたら試してみしてほしい。

60代

▽今年、長女が20才を迎えました。1月13日の成人式。娘は私が成人式で着た着物を着てくれました。着飾って嬉しそうに式典に向かう娘を見送りながら、自分の成人式を思い出し、きつと両親も同じ気持ちでこの着物を用意して成人式に送り出してくれたのだらうと思いが熱くなりました。20才まで元気に育ってくれたことを感謝すると共に、親として私も20年。これからも娘の成長をずっと見守っていききたいと思える素敵な一日でした。

40代

▽仕事、家事、子育てと毎日忙しく過ごしています。

ある日の夕食後、いつものとおり後片付けで食器を洗っていました。もともと食器洗いが大嫌いなのと、その日は特に疲れていたのです、かなりしかめっ面で洗っていたところ、小3の娘が1枚のメモを持って「読んで」と寄ってきました。そこには『おかあさん、毎日家事をがんばってくれてありがとう。イライラ顔からニコニコ顔になりますように。』と書かれていました。てっきりのんびりテレビを見ていると思っていたのに、私のことを見ていて気遣ってくれたことが嬉しくて、疲れがどこかへ飛んでいきました。

40代

▽最近息子がサッカーを始めたので「日吉アリーナ」という練習場所に行きました。そこは、私が30年前に通った旧日吉中学校の跡地であり、そのグラウンドと体育館のことでした。

中学校を卒業して以来、ほとんど旧日吉中を訪れることは無かったのですが、体育館には校章も大切に飾られ、グラウンドに降りる石階段も昔のままです。校舎がないため風景は随分違いました。子ども達の元気いっぱいの姿がそこにはありました。平成17年に移転した日吉中も閉校になりましたが、学校跡地は「日吉アリーナ」という立派な施設に変わり、子ども達が元気にサッカーをしています。その様子は今も旧日吉中学校舎が大切に残されているような気がして、とてもうれしい気持ちになりました。

40代

▽ある日、小学1年生の次男が外で遊んで帰宅したら、右目の周辺がひどく腫れていた。ボールが当たったのでは無く、原因がわからない。

一晩冷やして様子を見たが腫れがひかないため、病院に行くことになった。

何が原因なのか、目は大丈夫かと、病院の待合室でいろいろ考えているうちに、ふと次男と目があつた。

すると、前が見えているのかも分からないくらい右目のまぶたが腫れているのに、次男はこちらを見て、ニコツと笑つた。

そこで、はつと気付いた。自分がだんだん無口になり、表情も険しくなっていたから、次男が「僕は大丈夫だよ。」と伝えたのではないだろうか。まず自分が次男に「大丈夫だよ。すぐ直るよ。」と言つて、安心させてやらなくてはならなかったのではないか。

結果的に腫れはアレルギーによるもので、薬ですぐに治つたが、まだまだ子どもに教えられることばかりだ。



小3

40代

郵便はがき

郵便切手を貼って下さい。

509-6195

瑞浪市上平町1丁目1番地
瑞浪市役所 生活安全課

『ちょっといい話』係 行き

×キリトリ

お名前： () 歳
ご住所：〒
電話番号：
『ちょっといい話』の 感想 ・ 応募 (どちらかに○)
通信欄：

×キリトリ

読者のみなさまへ

このたびは『ちょっといい話9』を読んでくださって、ありがとうございます。上のはがきをご利用のうえ、ぜひ、ご感想をお聞かせください。みなさまからの『ちょっといい話』のご応募もお待ちしております。

✂
キリトリ

ありがとうございました。

✂ キリトリ -----

ちよつといい話 9

令和2年2月発行

瑞浪市・瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議
(瑞浪市 まちづくり推進部 生活安全課)

〒509-6195 瑞浪市上平町1-1
TEL 0572-68-2111 FAX 0572-68-8749
<https://www.city.mizunami.lg.jp/>

この冊子は岐阜県からの助成を受けています。